

hibiki

20周年記念号

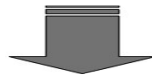
20年の歩み

シャープ社友会広島支部

SHARP

写真で見る今昔

1993年7月15日 広島支部結成式



2013年5月24日 結成20周年記念式典



結成20周年記念号

シャープ社友会 広島支部

----- 目 次 -----

・ 広島支部結成20周年によせて	
広島支部 支部長	ご挨拶 4
シャープ社友会会長	祝 辞 5
シャープ社友会副会長	祝 辞 5
シャープ(株)相談役	祝 辞 6
通信システム事業本部長	祝 辞 9
労働組合広島支部執行委員長	祝 辞 10
シャープ社友会地方支部 11
(東北 栃木 東京 中部 九州)	
歴代広島支部長 13
広島支部地区委員長 16
(広島、四国、山陰、岡山、山口、関西・中部・関東、福山)	

・ hibiki (ひびき) の由来と歴代編集者から 23
ひびきの名付け親 / 歴代編集者	

・ 広島支部20年の歩み 26
広島支部結成時からの年表と思い出の写真	

・ 広島支部のDNA [社友会本部30周年記念誌から転載] 32
「軽薄短小時代」の反逆児 “Wカセットの創造” (ラジカセ)	
コミュニケーション革命 …… “写メールの世界” (携帯電話)	
新しい音感 …… “1ビット・オーディオの世界” (オーディオ)	
・ 懐かしい職場 [社友会本部30周年記念誌から転載] 35
(無線) 広島工場生産部生産技術課 (1967年)	
山陰シャープ電機 (1967年)	
愛媛シャープ電機 (1968年)	
山口シャープ電機 (1969年)	
[社友会本部30周年記念誌から転載、一部の写真はカラー写真に替えて転載]	

・ 広島支部同好会紹介 39
あるこう会 / 囲 碁 / 釣 り / ゴルフ / ボウリング / パソコン	
グラウンドゴルフ / ダンススポーツ / 絵手紙 / 写そう会	
平成あそび隊 / 山歩会 / ものづくり / アマチュア無線 / テニス	

・ 結成20周年記念秋季親睦旅行について 54
----------------------	--------------

・ 定例報告と連絡事項	
祝 山本孝喜さん旭日小綬章を受章 56
広島支部結成20周年記念式典報告 (総会・懇親会) 57
地区役員報告 59
役員会便り/新入会員紹介/会員数推移/支部行事予定/編集後記 60

[付 属]

・ hibiki バックナンバーDVD (1枚)	
hibikiバックナンバーDVDの取扱説明書 裏表紙内側

結成から20年の歩み

社友会広島支部20周年挨拶

広島支部 支部長
山本 孝喜



社友会広島支部結成20周年を迎えるに当たり、ご挨拶申し上げます。

広島支部は平成5年（1993年）7月15日に会員13名にて結成いたしました。平成元年に栃木支部が発足しており、社友会も全国規模の幕開けを栃木支部が作ったと思われまふ。広島支部結成の翌年には東京支部が発足し、その後、広島支部から分離して九州支部が発足し平成14年に支部活動をスタートされました。現在は東北支部、中部支部を含め6地方支部が、本部の指導のもと同好会活動を中心として、会員の皆様に日々のお手伝い、人生の形成を作ったシャープ株式会社への恩返しに、シャープ製品の購入促進や地域の貢献活動など進めております。

私たちの広島支部も初代の石井支部長はじめ、山田支部長、出口支部長、吉久支部長と年を重ねる中で、いろいろな課題を乗り越え素晴らしい成長を遂げておりますが、歴代の役員方々の苦勞が目に浮かび、ご努力に感謝申し上げます。広島支部も4月には会員数も500名を超え、大所帯となりましたが、今後も役員一同力を合わせ、他支部の模範に成れるよう頑張るって行かねばなりません。

ご存知のように、広島支部には、社友会と共に定時準社員の組織として紅葉会がございます。

この組織は他の支部にはありませんが、同じシャープで働いた仲間として一緒に仲良く、定年後を楽しむ姿は胸を張れると思ひます。

日帰り旅行は紅葉会主催、一泊旅行は社友会主催と分担して実施し、日帰り旅行では、京都の御所、善峰寺、小豆島、鳥取中国庭園などを企画、実施していただきました。紅葉会の皆様には今までのご協力に感謝申し上げます。

5月24日に開催の広島支部総会と20周年記念懇談会には、シャープ株式会社から、ご多忙のところを町田相談役、社友会本部からは真副会長のご臨席をいただきました。

この広島支部結成20周年を新たなスタートとして、関係各位に今まで以上のご指導とご鞭撻をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

祝 辞

シャープ社友会 会長

御 手 洗 頭



シャープ社友会広島支部設立20周年記念総会のご盛會を心よりお祝い申し上げます。

広島支部は1993年7月15日に13名にて発足されました。その後、九州支部が独立致しましたが、今では500名を超える大支部となっております。役員様はじめ、会員の皆様のご尽力の賜物と敬意を表します。

広島支部は大変積極的な活動を通じて、仲間としての強い絆を育て、退職後の人生を前向きにして頂いております。これからも会員支援を積極的に継続頂きたいと存じます。

残念ながら、私達を育てて頂いたシャープはまだまだ厳しい状況にあります。常々申し上げておりますが、社友会として出来る限りの支援をしてゆきたいと考えております。広島支部の皆様も今以上のご支援をお願い致します。

最後になりましたが、広島支部の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

祝 辞

シャープ社友会 副会長

真 康 雄



今年の1月から下野副会長の後任を務めさせて頂いております真康雄です。宜しくお願い致します。

本日は、広島支部発足20周年、まことにおめでとうございます。合わせて、山本支部長が旭日小綬賞を受章され、二重の喜びでございます。皆様と共にこの日をお祝いしたいと思います。

皆様ご存知の様に、シャープ社友会は設立から33年、会員数も5254名もの大きな組織体となっております。ここまで大きくなりましたのも諸先輩の方々の熱心なお取り組みと、会員の皆様のご協力並びに会社からの種々のご支援によるもので、感謝、お礼を申し上げます。そんな中でも広島支部は、山本支部長のご指導のもと、会員の期待に応える楽しい社友会づくりに力を入れて多くのテーマに取り組んでおられますが、その代表的な3点を申し上げます。

一つは、まず同好会を充実していく為に、現在6支部の中で一番多い15もの同好会を作っておられます。数の多さだけでなく「ものづくり同好会」、「平成あそび隊」、「ダンススポーツ同好会」といった他の支部に無いユニークな同好会もあって充実しています。

二つ目は、「平成あそび隊」では地域の企業、工場

の訪問をされています。これは単に同好会の人達の勉強の場と言うだけでなく、回を重ねるにつれ、やがては地域企業の間で「シャープには卒業後も勉強しながら頭の健康維持を図っている素晴らしい社友会がある」との噂が広まる事と思えます。

三つ目は、広島支部では会員証を作って会員が、近隣の温泉施設、旅館、ホテル等格安で利用出来るよう交渉し、特別契約を進め、その数・エリアを広げる取り組みをされています。

この様に、従来の社友会の中だけの集いに留まらずに地域社会とのつながりまで広げていく取り組みは素晴らしいことだと思います。ここ広島は、毛利元就の「三本の矢」と言う意味の愛称をつけた「サンフレッチェ広島」がJ1で優勝していますが、このチームのスローガンは「We fight together 一丸」となっています。サポーターのみならず、地域が一丸となって戦っていく熱い風土を感じます。Jリーグも20周年を迎え、さらなる拡大を目指すようですが、シャープ社友会 広島支部も20周年を機に地域社会に広がる新たな取り組みでさらなる発展と、会員の皆様のご健勝を祈念し、私の挨拶と致します。

シャープ株式会社 相談役
町田 勝彦



町田です。皆さんこんにちは。
この度は、社友会広島支部が結成20周年を迎えられるとのことで、大変おめでとうございます。

私がこちらに参るのは、6年前に社長を退任して以来でして、本当に久しぶりで、今日懐かしい皆さんともお会いでき、大変感激しております。

お祝いの席ではありますが、皆さんに先ずお詫びしなければなりません。シャープの業績がこの2年間大変悪い数字を出してしまい、本当にご心配をお掛けしましたことに、私も監督不行き届きということで深くお詫び申し上げたいと思っています。

業績不振の理由というのは色々言われていますが、確かに急激な円高の問題もあったでしょう。70円台というのは想定外でしたし、或いは東日本大震災の影響があったのは事実ですが、ただそれにしても大変悪い経営状況になってしまいました。但し、私は心配することは無いと思います。基礎技術さえあれば、それをどこに応用するかという問題であって、家電に応用するのか、或いは医療など他に応用するのか、アプリケーションだけの問題でして、シャープには基礎技術があるわけですから、使う道をきちっとさえすればどうにでもなると信じています。ご心配をお掛けしていますが、もう暫くご猶予を頂きたいと思います。

私が一番残念だったのは、昨年の希望退職者が約3千人に及んだということです。私の社長時代は、絶対早期退職などはやらないとの思いで、ワークシェアリングなどで給料を下げてでも必ず雇用を守るようにしていましたが、昨年8月にこれをやると聞いた時は大変なショックを受けました。同胞を失うということが一番つらいことですし、何としても早く業績を回復して、また呼び戻したいという気持ちであり、是非とも現経営陣にお願いしたいと思っています。これが痛恨の極みでした。

この不振の原因について考えてみたのですが、一つは極度の円高の中で、液晶の操業が止まってしまったことです。70円台ではお客さんも来ません。ご存知の通り設備投資額も大きいので、操業が止まれば減価償却も大変な負担になり、大きな赤字が続いた訳です。

もともと一昨年6月頃はまだそのような状態ではなく、問題は大型の液晶で、中小型は“IGZO”という液晶が出てくると聞いていました。今はスマホなどに搭載されているものですが、液晶事業は、世界的に大型は大変なことになるが、中小型で当社はIGZOが出てくるので大丈夫との見解で、一昨年6月に片山社長が大々的に対外発表もしていました。但し、堺の大型液晶の問題については、何とか力を貸して欲しいということでしたので、台湾のホンハイと共同運営を検討することにしました。そして昨年の8月に事業を切り離したのですが、これが成功して昨年秋くらいから利益が出始めています。すなわち操業度が上がった訳です。

ところが、中小型のIGZOの方が、当初は一昨年11月に出来る予定が、最終的には昨年の秋まで延びてしまいました。結局シャープのスマホに最初に載せることになりました。そして今のドコモ社向けのスマホが出てからは、長時間使用可能が人気を博している訳です。IGZOによってシャープは大変な目に会ったのですが、赤字の殆どが中小型が原因だったので、今度はIGZOがシャープを助けることになると思います。

昨日、長谷川常務が記者会見で、「全てのスマホをIGZOに変える」と言っていました。これは素晴らしいことだと思います。このデバイスは量産が難しいと見られていたのですが、これが可能だと言うことが分かるとお客さんから注文も来るでしょうし、これが量的に増えていけば、圧倒的に優位になると思います。

もう一つは、この数年オンリーワン商品が無かったことです。新製品の開発が非常に遅くなり、特長商品が出なかったことです。私は何でこのようなことになっているのか、未だに良く分からないのですが、是非皆さん方からも叱咤激励をお願いします。やはり私は、ハングリー精神が長い好調の中で消えてしまったのかも知れないと思っています。

シャープにはそれなりの技術や底力があります。基礎技術がある訳ですから、本当に考えれば生まれてくると思います。例えば広島の実業を振り返ってみますと、懐かしくも古くは「ラジオさんテレコさ

ん」から始まりましたよね。世の中をあっと言わせました。それからザ・サーチャーが出てきたり、また驚きましたのは両面演奏の縦型のステレオです。そしてカメラ付き携帯。PHSでもNo.1でした。そういう伝統がこの本部にはあるのです。

シャープ全体を見ても、ラジオやテレビを最初に作ったメーカーですし、電子レンジや世界初の電卓、それとプラズマクラスターイオン（PCI）もそうですね。PCIは、福山の技術者がクリーンルームの空気のクリーン度を上げる為に発想したアイデアでした。そして結果的には、PCIと言うものは「菌も殺すし臭いも消す」と言うのが分かり、これがあらゆる当社の白物に搭載された訳です。

白物と言うのは、私も電化の本部長をしていたので分かるのですが、以前は利益率が低かったのです。ところが今では、全事業の中で白物が一番利益率が高いのです。

電子レンジもなかなか利益が出ない中で、ヘルシオが出てきました。結局、技術と言うものは、新しいものが出るとあっという間に生き返ります。私も当時IRで投資家を回ると、「白物は成熟商品で駄目だ。いつ止めるのか？」などとアナリストに言われていましたが、今では白物が利益率トップですし、アナリストは「これからの成長策は白物だ」とまで言っています。

商品と言うものはどんどん変わっていくし、シャープもそういう中でオンリーワン商品を出してきたのですが、今は途絶えているというのが一つの問題になっています。是非この遺伝子呼び起こす必要があると思っています。

創業者は「他社に真似されるものを作れ」と言いましたし、2代目の佐伯さんは「新しい需要を創造しよう」。即ち、世の中に無い新しいものを作れと言っていました。私も社長時代には「オンリーワン商品を作ろう」と言いました。これは創業者の言葉を換えて言っただけで、皆同じことを言っていた訳です。結局、こういうDNAがシャープには有り、これを何とか呼び起こさねばならないのです。

“開発し尽くされた”と言う言葉がおかしいと思うのは、先ほど白物で申し上げたように、私が本部長時代に開発し尽くされたと思っていたら、社長時代にどんどん新しいものが出てきました。例えば、ヘルシオが開発された時の話ですが、「水で焼く調理器が出来ました！」と言われた時は、私は本当に驚きました。こういうものがイノベーションの中で出てきた訳です。まだまだ、エレクトロニクスメーカーも潜在力があるということだと思っています。私が広島の商品で思い出深いものは、一つはWラジカセです。営業時代に随分これで稼がせてもらいました。あらゆる先にATOM訪販でザ・サーチャーを担ってもらい、大きな商売をさせてもらいました。大阪にあるカメラ専門店と取引したのもこの商品がきっかけで、彼らに電機製品を取り扱う道を拓いた訳で

す。また、製薬会社にも大変たくさん売ってもらったのですが、このことで商組にひどく怒られたという記憶もあります。大阪の有名な日用雑貨の卸店で大キャンペーンをしたこともあります。何れにせよザ・サーチャーは、会社に大きな貢献をしてくれたと思っています。

私が何よりびっくりしたのは、1980年代初めのテレビ事業部長時代の出来事です。当時、私は桂さんより中国にテレビを売るよう指示を受け、その際に「広島のオーディオを参考にするように」と言われました。そして、初めて中国へ行きましたら、中国全土ザ・サーチャーだらけなのです。シャープのラジカセと言ったらものすごい量でした。皆に「808（GF-808）の会社か？」と訊かれるのです。

「シャープのテレビなんか見たことない」と言われる始末で、当時北京の政府と交渉した際も、「サーチャーのような特長のあるテレビシャーシを持ってきたら買ってあげるよ」と仕入れの人から言われたりもしました。そして帰ってから、当時新本副事業部長に頼んで、短期間で特長あるシャーシを作ってもらったのですが、これが大ヒットして中国標準になるほど有名になりました。ですから、その刺激を与えてくれたのがWラジカセだった訳でして、本当に思い出深いものがあります。もう一つはカメラ付き携帯電話です。PHSでは強かったのですが、当時ドコモさんに携帯を売りに行き、「当社にもmovaの名前を下さい」と要請したら、逆に「あなたの会社は携帯を作れるのか？」と尋ね返され、私はショックを受けました。先方は当社を電話機メーカーと認めてくれないのです。そこで私は当時事業部長だった松本さんに、「携帯電話にカメラを内蔵できないだろうか？当社が得意としている福山のCMOSイメージセンサを携帯電話に載せたら面白い商品になると思う。これからのコミュニケーションと言うのは、声ではなく絵でやる時代になるのではないかと持ちかけました。今では文字や絵でメールをする時代になりましたが、そんな時代が来るとして作ってもらったら、大ヒットしたという訳です。

この携帯のパワーと言うのは、私にとって強烈な思い出ですし、経営にどれだけ貢献してくれたか計り知れません。当時佐治副社長と「液晶にこうして投資出来るのも携帯のお陰だ」と、よく話していました。フリーキャッシュフローをドキュメントと共に、ものすごく稼いでくれていましたので、この二つが稼いだ資金で、実質液晶の投資が出来ていたのです。

ただリーマンショックがあり、結局、円高になって液晶の利益がなかなか出なくなってしまいました。一方携帯はスマホに代わり、アイフォーンの台頭などで苦戦が続き、今でも勿論フリーキャッシュフローを稼いでくれてはいるものの、これが減ってしまい、資金繰りに大きく影響を与えました。是非IGZO液晶のスマホで挽回して、また資金を稼げるよ

うに頑張ると共に、皆で応援しながらシャープ全体を変えていければ良いと思っています。何れにしましても、こういうキーになる商品を、CMOSと携帯でスパイラル戦略を展開したように、今度はIGZO液晶とスマホで展開し、大きな事業に育つことを願っています。

また、支部長からお話がありましたように、今日からバイシャープでスマホのキャンペーンがあるとのことですので、どうぞご支援の程お願い致します。

最後に、この度高橋副社長が社長になることとなりました。皆さんご存知の通り、もともと彼は若い頃、米国で複写機の営業や商品企画的なことをやっていた。それから、中国の常熟市にあるSOCCという複写機の工場の社長をやった後、米国SECの販売会社の社長を担当しており、生産、営業の両方を経験しています。皆さんには、是非今後ともご支援をお願いしたいと思えます。

今社員は大変頑張っておりますし、また液晶の事業もアベノミクスにより注文が増え、操業度も今後急速に回復していくと思われま。皆さんには本当にご心配をお掛けしましたが、何とか下期くらいから明るい見通しを立てられるのではないかと思います。

なお、私は昨年6月に取締役を退任して相談役となり、現在は社外活動を中心にやっています。大阪商工会議所の副会頭をやっております。大阪では、シャープがパナソニックに次いで2番目の事業規模。売上高で3兆円近い規模の会社は他にはないのです。シャープが頑張らないと大阪は良くなりと言われています。大阪の人たちからも期待されています。中小企業の皆さんも、我々が良くなりと言えないという責任もありますことから、商工会議所でビジネスマッチングなどを通じて中小企業を色々指導しているところであります。

もう一つは、大阪体育協会の会長をしています。国体に大阪選手団を引き連れていく訳ですが、今年は東京で開催されます。一昨年は山口でありました。他にはロジスティクス協会の関西運営委員長という、物流関係の責任者もやっています。今はこういうことを通じてシャープのPRをしており、側面的な協力をしながらシャープのファン作りに努めています。

大変有り難いと思うのは、皆さんがシャープを愛してくれているということです。過去先輩方が色々な商品を作ってきた積み重ねがあると思えます。非常に愛着を感じて頂いているのです。この前も全く知らない方から「シャープを応援する。何をすればよいか？」と電話がかかってきました。実はその方は有名な人でして、京都の西陣織組合の会長で、京都地区の中小企業の団体の会長もしている人でした。そして、「シャープのような重要な会社は守らねばならない。何でも応援するから」と本当に有り難いことを仰るのです。多くの人に愛されている会社なので、皆で盛り立てていかねばならないと私も改めて痛感した次第です。

久しぶりに皆さんにお会いして、つい長話をしてしまい申し訳ありませんでした。今日は、このような懇親の場にお招きをいただき本当に有難うございました。皆様方には、これからも健康でありますことと、またご多幸がございますことを心から祈念いたしまして、簡単ですがご挨拶とします。

祝 辞

シャープ株式会社 通信システム事業統轄
兼 通信システム事業本部長
常務執行役員 **長谷川 祥典**



シャープ社友会広島支部が結成20周年を迎えられますこと、心からお祝い申し上げます。また、社友会の皆様には、会社事業へのご指導を含め、日頃から格別のご理解とご協力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。

支部結成が協議された当時、13名の会員ではボランティア活動など会としての諸活動の負担が大きく、運営の困難さが懸念されたと伺っておりますが、当時の役員皆様の熱意が、社友会本部役員、会社幹部、組合幹部の心を動かし、1993年7月15日「広島支部」の設立に至られました。以来20年、今では500名を超える会員数となられたことは、歴代の会長様・役員様をはじめ、支部の運営にご尽力された皆様の並々ならぬ熱意とご苦勞の賜物と拝察申し上げます。会員相互の親睦を図る同好会も支部結成時の5つから15へと拡大され、又、支部会報「hibiki（ひびき）」やホームページの充実など更なる交流の仕組みを広げ、支部活動の活性化に取り組んでおられますこと、大変素晴らしいことであり、広島支部の一層の発展を期待申し上げます。

さて、昨年2012年度は、諸先輩の皆様が道筋をつけ築かれてきた「創業100周年」という記念すべき年でありましたが、未曾有の会社の危機に直面することとなり、多くの仲間が会社を離れることとなってしまいました。皆様には大変なご心配をおかけすることになってしまいましたこと、誠に申し訳なく思います。この苦境の中でも、諸先輩の皆様から、励ましの言葉を頂き、また、シャープ製品の推奨や購入推進にも一層のご協力を頂くなど、様々な形でご支援を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

先日、シャープの再生と成長を実現する為の中期経営計画が発表されました。

この中期計画に基づき、本年をシャープの新たなスタートの年とすべく、創業の理念に立ち戻り、新体制の下、全力で会社再建に取り組んで参ります。

通信事業につきましても、スマートフォンへのシフトの中で、国内市場でもグローバル企業が攻勢を強め、まさに生き残りをかけた極めて厳しい競争環境となっております。その中で、他社機を大きく上回る長時間稼働を実現したIGZO搭載スマートフォンが、昨年末の市場投入以来、お客様に大変好評です。お客様に新たな生活価値を提供することを第一義に、本年度はIGZO搭載機を中心に長時間駆動を一層強化すると共に、さらに「革新的なデザイン」「AVを含む多様な機器との連携性」など、シャープの企画力・開発力を世にアピールできる強い商品を市場に送り出します。

昨日、東京・芝浦で開催しました「通信フォーラム」で、当社のスマートフォン戦略を発表して参りました。そのトピックスを少しご紹介させていただきます。

(スライド①) : 2013年度上期の重点取組み

(スライド②) : 2013年度上期新製品 : 全7機種

(スライド③) : 更なる拡大に向けて、2014年度 IGZO搭載100%を目指す

通信事業を拡大すると共に、全社業績の向上に貢献して参る所存ですので、引き続き皆様のより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、社友会広島支部の益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

スライド①

スライド②

スライド③

祝 辞

シャープ労働組合 広島支部
支部執行委員長
阿 部 亮 介



シャープ社友会広島支部の第20回定期総会のご盛会、また、20周年のふしめをお迎えになりましたこと、誠にありがとうございます。

社友会広島支部の発足より本日までの間、歴代の支部長様をはじめとする役員の皆様のとゆみなないご努力と、会員の皆様の着実かつ活発なご活躍によって、会員数や活動範囲を順調に拡大されてこられた事に対し、改めて敬意を表すとともに、諸先輩の皆様方には、様々な場面において労働組合に対するご指導とご理解を賜り、感謝を申し上げます。

さて、既にご承知の通り、シャープは、昨年より非常に厳しい状況が続いており、社友会の皆様にも大変なご心配をおかけしておりますが、現在会社の再生に向けた様々な変革に労使で取り組んでいます。

先日発表されました中期経営計画において、会社の現状と業績回復の道筋、今後のシャープが目指す方向について世に示したものと考えています。これらの約束事を企業として守る為に、組合員として何をすべきか、会社をどう変えていくのかといった方向性や具体策を示し、実行する事がこれからの労働組合の使命と考えており、日々の諸活動を展開している所です。

本格的な高齢化社会への突入によって、社会においてもいわゆるシニア層の活躍の場や果たすべき役割がさらに拡大していく環境にあります。新たな次のふしめにむけ、社友会組織の拡大と、より活発かつ広範囲な活動が行なわれることにより、地域や社会に一層の貢献をされることはもちろん、今後とも私たち現役社員の良き道標として、発展される事をご期待申し上げます。

結びに、シャープ社友会広島支部の益々の発展と、皆様のご健康とご多幸を祈念しお祝いのご挨拶と致します。

広島支部結成20周年のお祝い

東北支部 支部長
中野 税次



広島支部発足20周年、誠におめでとうございます。この20年の間、会員数の拡大と共に同好会活動、地区活動、イベント、社会貢献活動等々、有意義な社交会活動により、楽しい時間と親睦を共有され益々発展されました事、心よりお祝い申し上げます。発足以来いろいろなご苦労があったものと推察致します。役員の皆様のたゆまないご努力と会員皆様の心を一つにした活動に心から敬意を表したいと思えます。

我が東北支部は発足6年目で、まだまだ十分な活動が出来ておりませんが、貴支部より学ぶ事が多々あります。今後共必要なアドバイス、ご指導を賜りたく、お願い申し上げます。

最後に、広島支部様の今後ますますのご発展と皆様のご活躍をお祈り致します。

広島支部結成20周年のお祝い

栃木支部 支部長
増田 武司



広島支部結成20周年を迎えられたこと、心からお慶びを申し上げます。

そして、その間支部運営に携わってこられました多くの役員、関係者の皆様には心より敬意を表します。

広島支部会報「hibiki」を拝見しますと、栃木支部とは比べようの無いほど活発に活動され、会報の年4回発行や、親睦行事も春秋の旅行や年賀会、クラブも多く、更には支部の構成範囲が広く、広島地区をはじ

め、山陰・山口・岡山・四国がそれぞれの地区でも活動されるなど、広島支部のパワーを感じています。

私たち栃木支部は、結成25年になりますが、広島支部の活動を参考にさせていただき、更に充実を図ってゆく所存です。

広島支部の一層のご発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

先輩に敬意と期待をこめて

東京支部 支部長
成田 征二



広島支部の皆さま、支部発足20周年、おめでとうございます。東京支部会員一同、心からお祝い申し上げます。

広島支部は、私たち東京支部より一年早くスタートされた先輩であり、年々着実に歩んでこられたお姿に注目しつつ、何かとお手本にしてまいりました。

支部会報「hibiki」やホームページを拝見していると、中・四国地方全域、さらにその他地区にまで地域別活動を展開、また、「ものづくり」、「平成あそび隊」といったユニークで多岐にわたる同好会活動、

社会貢献活動への積極参加、会社製品購入一人一品運動など、いずれの機会にも多くの会員が参加され、素晴らしい成果を挙げておられます。成果の基は、支部の皆さん全員の“強い絆と一体感”。それこそが広島支部の大きな特色であり、私たち後輩の最も学ぶべき点で、今後も参考にさせていただきます。

終わりに、広島支部がますます発展充実の道を歩まれますよう、敬意と期待をこめてお祈りし、お祝いの言葉といたします。

広島支部発足20周年を祝して



中部支部 支部長
金子 勝彦

この度は発足20周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

貴支部には「紅葉会」という組織があり、大変賑やかに活動されている事、又会報誌「hibiki」も音響・通信のイメージと、会員間相互の連携（打てば響く）をイメージし、誠に素晴らしいネーミングと感心致しております。我々の中部支部は親睦団体「早友会」時代を含め、18年目（社友会で5年目）を迎えます。現在会員は約200名で発足時から10倍の規模となって来たこともあり、支部を6地区に細分化し、会員に近い地区長を中心に同好会活動（歩こう会、ゴルフ会、グルメ会、麻雀会、写真部会、菜園部会、旅行会等）を定期的に行い、参加者も年々増加の一途を辿っているところ です。

会員に対する情報誌は2ヶ月間隔で「支部だより」を発行し、加えて会員の近況報告として2~3名の紹介を続けております。

又、新会員にも支部長からの歓迎メッセージを送付し、同好会への勧誘と共に希望者には顔写真入りで「支部だより」で紹介致しております。当支部エリアの三重県に多気、亀山両工場を配しておりますが、残念ながら事業部卒業者は当支部への入会が少なく今後の課題でもあります。支部の取組方針は「絆」を大切に「入会して良かった社友会」「参加して楽しい同好会」を合言葉に、更に本年は「事業への不参加者の運動」を役員一同意識してきめ細かく取組を図って参る所存です。

最後に広島支部が益々ご発展、充実され、シャープの仲間が真から楽しい、そして生き甲斐とを感じる活動を続けられます事を心から祈念申し上げます。

広島支部20周年記念について



九州支部 支部長
川下 睦彦

社友会広島支部結成20周年記念、誠におめでとうございます。

九州支部会員より心よりお祝い申し上げます。

広島支部は会員数約500名と東京支部の約650名と並んでの東西を代表する支部であり、歴代の支部長、幹事役員のご指導及び会員相互の団結力の賜物と拝見いたします。

日頃より広島支部会報「hibiki」を拝読させていただきますと同好会活動に対する会員の参加が非常に活発であられるようで、また生き甲斐の場づくりなる運営についても中国地区、四国地区の広域でありながら、各地区担当幹事を配置される等、非常に木目細かな創意工夫がなされているようであります。

我々九州支部も広域（北から南まで約300km）である故に広域運営の参考とさせていただいています。

また広島支部は九州支部の兄貴分でありまして、1998年九州分会設立時には本部太田会長、広島支部山田支部長、2002年支部昇格時には、本部幸会長、広島支部出口支部長に大変ご尽力賜り、お世話になりました事、ここをお借りして改めて会員皆様にお礼申し上げます。

これからも我々の兄貴分として、また支部のリーダーとして広島支部が発展されんことを祈念申し上げます。

広島支部発足当時を顧みて

元広島支部長
山田 順



シャープ社友会広島支部結成20周年、心よりお祝い申し上げます。

顧みれば、支部発足迄には幾多の困難、紆余曲折がありました。此処に列記し、当時のことを想起したいと思います。

- ・平成4年、社友会本部秋の親睦旅行で幕張ビルを見学。その後俄かに支部結成の機運が高まり、同年10月有志6名で第1回目の会合を持ち、結成への下打ち合わせを行いました。
- ・当時の会員は僅か13名、果たして支部の運営が出来るのか不安もありましたが、何よりも先ず作ろうと事を進めました。
- ・平成5年1月、在広会員協議の結果、全員の賛同を得て本格的準備を進めました。
- ・事業本部のご理解とご協力、社友会本部との折衝、会則・細則の立案等々、各自精力的に作業を進めました。
- ・此の間社友会本部からは、会員も少なく経理面でうまく運営出来るのかなど、危惧する声もありました。本部としては支部結成は時期尚早との結論でした。
- ・平成5年4月、社友会本部総会が信貴山であるのを機に、広島からも担当者全員が出席し、改めて本部長、役員諸氏と意見交換し、結成理由を縷々説明の結果、ようやく了解の回答を得ました。
- ・初代支部長には石井寛二元常務にお願いし、事業本部のご厚意により設備の充実した社友会室も出来、支部結成の準備は全て整いました。
- ・平成5年7月15日、佐治事業本部長、太田社友会会長、吉江社友会副会長はじめ、広島支部会員も全員出席し討議の結果、正式に発足する事になりました。今思いますと、延々8ヶ月、会合も20数回を重ね、ひたすら支部作りに傾注して参りました。この喜びは一入のものがあります。1年遅れて紅葉会も発足し、代々の支部長、役員の方々の新しい発想と企画によって、個性ある充実した支部に成長しました。今後益々の飛躍と発展を期待します。

支部結成20周年を迎える

元広島支部長
出口昌孝



支部結成20周年を迎えるにあたり、会員のひとりとして喜びとお祝いを申し上げます。

平成5年7月結成総会時、会員数13名から、この度、会員数504名（5月末現在）までになり、ひとつの区切りとして記念行事に至るまでの成長を共に喜びたいと思います。

私が社友会に入会したのが平成8年5月支部結成3年後でした。会員数34名で会報「ひびき」第7号発刊準備のころでした。私は現役最後の年に「急性心筋梗塞」で急遽入院の体験があり、入会后その情報を知ってか？その体験談を会報「ひびき」第7号に原稿提供を受けたのが最初でした。従って折角の命拾いを定年後に健康で楽しむ為に趣味として「励み」となる「ゴルフ同好会」へ参加し、嵐リーダーと共に立ち上げ準備や仲間作りで、先ずその年末に第1回「顔見世コンペ」としてスタートしました。

その後15年間、第150回コンペをもって今は新リーダーにバトンタッチをし、その後はマイペースでプレイに専念しています。

参考までに、その間、コンペ参加率100%を第160回まで健康で続けられているのも私の一つの記録です。

平成10年5月（会員数47名）より先輩山田支部長傘下に役員組織として副支部長席が新設され就任、その時この席は「次期支部長後任候補」の為に企てでは？と思いました。

その後、平成13年5月（会員数88名）より山田支部長の後を受けて支部長に就任しました。当時は結成組織としての過渡期でもあり会員数の増加傾向を含め、主な取り組みをトピックスとして紹介します。

・九州分会設立づくり

九州地区在住会員の広島支部扱い協議も始まり平成10年6月広島支部分会（会員数16名）として九州分会が設立し檜原分会長として結成、その後平成14年4月（会員数47名）にて支部昇格し吉田支部長の誕生にて引き継がれ現在に至っています。

- ・「役員の業務マニュアル」の作成と更新の徹底。会員数の増加に伴い、組織としてのルール整備や世話役役員を強化し、そのレベルアップの必要性から、それぞれ先輩役員からの引継ぎ事項をベースに実務を行い、更には後任者が効率よく実務が出来るように「社友会広島支部規約」以外に、平成15年6月役員のための「役員の業務マニュアル」作成・実施・更新していくことを確認しています。
- ・社友会事務所
支部結成準備の段階より、会社の格別な支援を頂くなかで「社友会室」について第2工場旧事務所資材部スクリーン応接横に設置いただきました。その後、会社業績の進捗にあわせ第3工場2階食堂内売店横への移転等もあり、やがて平成15年8月「ラポール広島」レクチャールーム1に定まり一応の落ち着きとなりました。
- ・支部結成10年の歩み
平成15年支部結成10周年を迎える記念行事としては支部成長の過渡期でもあり一つの通過点として会報「ひびき」第25号にて「支部結成10年の歩み」記事にて紹介にしています。
- ・平成17年5月（会員数191名）後任の吉久新支部長にバトンをタッチするまでの世話役7年間については多くの方々の理解と協力を頂きました。

今後の成長と継続を祈念してお礼とお祝いに代えさせていただきます。

支部結成20周年記念

元広島支部長
吉久 清春



広島支部結成20周年おめでとうございます。皆様と共にこの日を迎えられることは何よりの喜びと感謝しています。

広島支部の歩みには色々な人の努力の積み重ねがあつて今日があります。

私が定年後の第2の人生を、私の子供達がお世話になった地域への恩返しと、先輩が築いてくれた社友会への参加と決めていました。社友会には定年3年後に入会し、8年間役員をさせていただきました。年と共に団塊の人達の社友会への加入者も増え、それにつれて時代もアナログ時代からデジタル時代へと社会も変わってきました。パソコンも必需品となり、社友会で講習会も実施されました。同好会の数も大幅に増やしたこと、ホームページを開設したこと、通達もメール配信になったこと、会誌“ひびき”から“hibiki”に時代の流れに合わせた事、など他社のOB会とは少し違った電機メーカーらしいOBの会だと自負しています。支部の管轄する地域が広いため、会員増に伴って横の連絡が難しくなり、四国、山陰、山陽、に地域委員を配置して連携が取れるようになったことも大きな進歩でした。

この様な動きの中で私が一番ありがたかった事は各同好会の幹事役になっていただいた人々の活躍です。同好会の幹事の人達が熱心に、会員の興味をどの様に引き出そうかと思ひながら企画し、参加者を楽しませてくれたことです。非常に苦労人が多いことに頭が下がります。幹事になると時には自分を犠牲にして同好会のスケジュールを優先させる必要があります。行事を行う前に下調べ、品物の調達手配、天気心配、スコアの整理、イベントの計画など、一年を通じて仕事は大変なものがあります。これらのことを幹事さんが実行されるので、我々が楽しく参加できることに感謝・感謝で一杯です。

シャープ社友会の同好会は幹事さんの熱意と努力で成り立っているように思います。自分がその立場になった時は大変だなと思うのですが、色々な人に幹事役をやっていただいて、(特に新しい人も進んで)幹事役の大変さを経験してほしいと思います。

私自身、ぼつぼつ身の回りを整理しようと考えていますが、体力の続く限り皆さんの足を引っ張ることなく参加したいと願っています。

また、2つ目は地域に対する想いであります。会社人間の間は、ほとんど地域との交流は出来ませんでした。時間が出来、地域の人達と対話する中で、地域の仕事も理解できるようになり、地域の役員の仕事を受ける中に民生委員の仕事も入っていました。

民生委員の仕事の内容が判らないまま引き受けたものですから、引き受けた後は大変でした。今迄勉強もしていなかった介護関係、育児関係、高齢者と係わる仕事、法律相談、人権、児童、就学などいろいろと勉強させていただきました。またそれらの関係する人と接する中でこのようなケースもあるのだと考えさせられることもありました。

これらは民生委員を務めてきた中で子供達への思いやり、子供たちと接することの楽しみ、高齢者への取組み、困っている人への取組み、世間には色々な立場の人がいる事を教えていただきました。

高齢者は我々も身近なだけにどのように自分を維持するか。普段の規則正しい生活、運動、ボケ防止の対話の必要性、優しいおじいちゃん、おばあさんになっていく努力も、若い人に面倒見を期待するのであれば必要です。自助自立の精神で頑張りましょう。

既に各地域で活躍している人の話を聞きますが、シャープのOBとして地域に係わりを持ち、自分達の住んでいる地域を、より良くする仕事に貢献してほしいと思います。

最後に広島支部の発展と会員皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念して、20周年のお祝いの言葉といたします。

広島地区ゆうゆう会結成10年の歩み

広島地区委員長 山根 行雄

『広島ゆうゆう会』は中国地区でお世話になった販社出身のOB会です。10年前に世話役（檜原氏・三島氏・片山氏・中村氏・金子氏・牛島氏・児玉氏・越智氏）8名の方々が集まり、シャープ広島ビル勤務の中国地区の販社出身の方々や中途退社された方々から情報収集する等、一年がかりで苦労し会員名簿を作成するなどした。会の名称は、「悠々・遊友」などをもじり「ゆうゆう会」と決めました。檜原代表より、広島支部の出口支部長へご相談、結成理由をご説明した処、即座に本会設立のご了解をえました。これまで吉久支部長に2回、山本支部長に2回の総会懇親会にご臨席賜り、社友会広島支部の活動状況やシャープ本社の現況など説明戴き、ゆうゆう会員との一体感も高まってきました。更に2年前より、地区活動支援金のご援助戴き、大変ありがたいことだと心より感謝しております。

近年、若い世話役8名（奥村氏・山根氏・岩崎氏・谷口氏・塩安氏・金国氏・栗栖氏・田井氏）の新世話役で体制強化し、今年で結成10周年目の節目の年を迎えます。今年11月5日には『広島ゆうゆう会設立10周年記念懇親の集い』を特別企画で開催予定です。

★ゆうゆう会では2つのクラブが現在活動中です。

◆『ゆうゆう釣りクラブ』10年前に「釣り好き」の仲間7～8名が集い結成して、毎月1回程度、シーズンに応じて佐多岬沖・周防灘・大島・上関・室積海岸・浜田・益田方面に出かけ、釣り場をかえ砂場・沈船場・岩場等の様々な場所での船釣り実施、各人の釣りのスキルアップを図り乍、互いの健康増進と親睦交流の促進中です。

◆『ゆうゆう会ウォーキングクラブ』9年前にウォーキング仲間10数名にて結成、毎年、市内の天然温泉（ほの湯）にて新年会や忘年会を開催、春に近郊の桜名所にて花見会、極楽寺山山開き登山、夏に海水浴や宮島花火大会観覧して親睦交流を促進。更に、仲間登山歩きが好きなメンバーが近郊の山々や山野草の名所巡り、宮島弥山・極楽寺山・鈴ヶ峰山・茶臼山・白木山・三段峡・大潰山・恐羅漢山・寂地山・灰ヶ峰・野呂山・道後山（鳥取）・大船山（久住）等へトレッキングを体験。社友会広島支部「山歩会」の結成後は、都合のつくメンバーが合同登山したり、単独での山登りに汗をかき乍、互いの健康増進と親睦に努めています。

❖ゆうゆう会員のトピックス3件をご紹介します。

◆『月下美人草の開花』・ゆうゆう会員（広島地区会員）中村吉克さんご夫妻が2年掛りの丹精栽培により、真白い多弁の大輪の花を10輪余り高貴な香りを放ちながら艶やかに見事に開花、本当に圧巻でした。

（支部HP「談話室」に掲載、hibiki Vol.52で紹介）

◆『高齢者へ医療キット配布拡大』・ゆうゆう会員（広島地区会員）佐々木和治さんは安佐北区三入地区社会福祉協議会会長に選任され、500世帯を目標に希望者を募り、町内会を通じて救急医療情報キットの配布や高齢者の見守り体制の強化を推進中。更に、三入地区での「町おこし」の一環として「町づくりを考える会」の「地区ホームページ」の開設を要請され、悪戦苦闘の末、平成20年12月1日に公開し、現在も更新等で活躍中です。

（hibiki Vol.57の「地区会員便り」にて紹介）

◆『地域の福祉活動に携わる』・ゆうゆう会員（広島地区会員）「依浩一郎さん」、5年前、広島市安佐南区「山本学区社会福祉協議会」の山本・春日野地区活動委員長に選ばれ、「ふれあい・いきいきサロン」を開催。高齢者の交流推進に「簡単な体操」や「団欒昼食会」を実施。又、新しく「トランプ・あや取り・折り紙」教室の導入、「ハーモニカ伴奏による童謡・歌謡・唱歌合唱」を加え、3年前からボケ防止の訓練も兼ねて「紙芝居」や手話合唱も導入し指・体・頭を使い、参加者全員が楽しんでます。又、近隣の里山へ出かけ、4月は「花見会」、11月は「紅葉祭り」に参加、素晴らしい景色とボランティア演芸を満喫できる特別野外サロン開催、12月は「忘年会&クリスマス会」実施、お蔭様で参加者が年々増えてまいりました。

（hibiki Vol.60の「地区会員便り」にて紹介）



ウォーキングクラブの花見



第一回 ゆうゆう会設立懇親会



釣りクラブ 関アジ釣りで

支部結成20周年を迎える

四国地区委員長 尾崎 巧

2005年6月にファックスでの連絡で、7月に開催の支部委員会への出席要請を受け出席する。

四国地区会員7名により、社友会広島支部四国地区として発足する。それ迄は、本部所属としての在籍であり各種の活動や会員相互の連携のないまま、社友会本部より郵送による定期配布による情報の受け入れのみで終始していた状況下にありました。

発足当初は、少人数で有る事と会員が香川及び愛媛県に居住、また香川県でも各地に点在、現役時代の繋がりが希薄等の厳しい諸条件が重なった事により、発足時に委員を務めて頂いた「谷井一夫」氏からは、地区活動を進めるに当たっては多々苦勞された事を聞き及んでおります。その後、会社からも退職後の居住地に四国地区と成る者は基本的に広島支部に所属としての案内が発せられると共に、所謂団塊世代の大量退職時代を迎える事となり地区会員も増加し現在では20名を越す会員数となっております。

2009年より、谷井氏が家庭の事情により地区委員の継続が困難となり、小生が引き継ぐ事となりました。四国地区に於ける地区活動状況は、未だ未だ十分とは言えませんが以下の通りです。

過去より継続のOB会の開催があります。四国地区の版社に在籍歴の有る社友会員・OB会員等によるシャープ四国OB会と愛媛地区版社に在籍歴のある会員による愛媛シャープOB会を各々隔年開催として実施しております。更に、四国地区の事務機版社に在籍歴の有る会員による四国事務機OB会も発足に向けて準備中であると聞いて居ります。

前述の通り会員が四国4県に分散しており合同の活動はかなりの制限が有る事より、当初は高松市近在の会員で、最大公約的な趣味であるゴルフにより定期的に集まり近況の連絡と相互の連携強化を図っていました。近時は現役との連携も強化し社会貢献活動の「シャープの森」や「蚤の市・倉庫市」への参加等、厳しい経営環境に置かれている会社への恩返しとして積極的に参加させて頂いております。

今後とも、井元俊夫副委員長の協力を得て積極的な地区活動を進め、更なる会員相互の連携強化を図り意義のある社友会と会員の拡大による地区の分散化による木目細かい活動ができる環境作りも考えて行きたいと思っております。



第10回シャープ四国OB会 H22年10月24日 高松市



愛媛シャープ電機OB会 H23年10月16日 奥道後温泉



第11回シャープ四国OB会 H24年10月14日 高松市



環境社会貢献活動”シャープの森づくり”
H24年9月15日 丸亀市

支部結成20周年を迎える

山陰地区委員長 山澤 純一

平成17年広島支部との連携役として、管内4地区（四国・岡山・山口・山陰）に、地区委員が、設置されることとなり、佐々木企画幹事さんの推薦を受けて、私、島根・鳥取両県担当の地区委員に登録されました。当時の山陰地区会員数は6名でした。

7月22日、各地区委員がラポール広島に参集して初会合を持ち、その役割を確認いたしました。

早速、境港の片桐縣二先輩宅を訪問、山陰地区会の今後の運営について、貴重なるご助言を頂いて、鳥取への帰途についたことを思い出します。

◎ 第1回社友会山陰地区会は、平成18年4月8日に米子皆生温泉「うなばら荘」にて、広島支部から山根行雄幹事さんに、出席いただき開催されました。毎年、年1回の地区会兼懇親会を開催し、相互の健康維持の為に、情報交換とシャープOBとして交流の場を作っていくことを確認いたしました（出席者6名）。

◎ 第2回目の山陰地区会は、平成19年4月17日にシャープ米子株式会社工場見学会として開催し、該社の天野社長、浜石統括様より会社の概要説明を頂き、当時の最先端液晶デバイス(第2.5世代)製造ラインをご案内頂きました(出席者4名)。

◎ 第3回目は平成22年2月21・22日に米子皆生温泉“彩朝楽”にて、内藤健一地区副委員さんのお世話で開催されました(出席者13名)。

◎ 第4回目は平成23年6月3日、出雲市のニューウェルシティ出雲にて、原幹夫さんのお世話で開催(出席者11名)、翌日は出雲空港CCでゴルフに気持ちの良い汗を流しました。

◎ 第5回目は平成24年6月11日、浜田市のきんたの里にて、下手実さん、市原和正さんのお世話で開催（出席者10名）、翌日浜田港の沖波止にて魚釣りを楽しみました。

地区会は回を重ねるたびに、担当幹事さんのひとかたならぬご尽力により、実のある充実した開催となり、旧交を温め、楽しいひと時を過ごす機会となっております。私自身、皆様より「元気」を頂き、感謝しております。当地区会員数は22名（平成25年3月現在）となりました。平成25年度第6回目の地区会は9月に米子地区にて、山垣徹郎さん、藤原徹さん両会員のお世話で開催を企画中です。

ぜひご期待ください。

会員の皆様、健康増進の為に仕事を続けておられる方、趣味やサークル活動、又地域でのボランティア活動に参加されている方、まさに「日々是好日」、明るく、楽しく、元気に長生きを合言葉に、有意義な人生を送りたいものです。



第一回 山陰地区会員が集合 H18年4月8日 皆生温泉



第三回 山陰地区会 H22年2月21日 皆生温泉



第四回 山陰地区会 H23年6月3日 出雲市



第五回山陰地区会開催 H24.年6月11日 浜田市

退職後に奮起一転！

岡山地区委員長 池田 征三郎

岡山県地区会員は、岡山県在住の方でも、近畿地区、福山地区会員に所属されてる方が少なからずおられ、会員数が他地区より、少ない状況です。その様な中で、毎年、社友会メンバーを中心に、岡山シャープOBを含め、他地区の社友会メンバーも合流して、忘年会を12月に35名前後の参加で定期的実施しています。

又、年3回のSH-GOBゴルフコンペを実施していますが、今回は6月18日で27回目と重ねて参りました。

会員メンバーもお互いの健康確認と、スコアチャレンジへ、再会を楽しみにしています。

昨年秋に実施した、復活シャープに向けた応援の、バイシャープ「一人一品運動」では、会員12名の協力にて、岡山地区として100万円突破の成果には感動しました。今年も、6月のイベントへの参加促進等の強化や会員の協力を得て、バイシャープの啓発へ取り組みたいと思います。

今回、社友会広島支部発足20周年を機に、新入会員で津山市在住の河野俊治(6176)さんの紹介とPRをさせて戴きます。河野さんは5年前にIC事業部福山工場を退社後、料理学校を卒業し、ゴルフ場のレストランで料理修行。昨秋10月に65歳で奮起一転、カフェ&サロン“ザ フローレンス”を津山市沼848-1にオープンしました。花に囲まれた心地よい空間と手料理が自慢のイタリア風のお店です。本格的サイフォンコーヒーは大人気で、特に奥様方や女性のリピート客へと拡がり人気もますますです。皆さんも機会あれば、是非、彼の様変わりの様子見に、観光の延長で津山まで行って見ませんか？

お店は、岡山県北タウン情報誌『JAKEN』（ジャケン）の2013年5月号で紹介されましたが、下段に本店と彼のPRスナップを紹介させて戴きます。



第21回 SH-GOBゴルフコンペにて、晴天でした



2010年のシャープ岡山OB懇親会参加の皆さん



花いっぱいのお店の前で



2枚の写真は、お店の外観と店内の様子

OB会には遠路からの参加で盛大に

山口地区委員長 松田 正博

社友会広島支部20周年おめでとうございます。
山口地区は平成18年以前の動きは無く、実質的には平成18年から立ち上げたと言うことになります。
立ち上げ時に、先輩であります越智光夫さんからの推薦を受けて初代の地区委員長をやることになりました。二人で山口県で働いた同士を集めてシャープOB会をやろうと計画し、第一回の山口シャープOB会を山口市の湯田温泉の“たなかホテル”で実施することにしました。社友会会員だけでなく山口でシャープに在籍した全ての人を対象にしようと話し合い、手探りで集めました。平成18年10月14日、山口県湯田温泉ホテルニュータナカで第一回を開催しました。幸い賛同してくれる同士29名が各地から参加され、懐かしいメンバーで昔の思い出話に花が咲きました。今回は3年後という事で約束しました。

第2回は平成21年という事になり、新しく兼田氏と村井氏が加わり、販社別に新しいメンバーを探すことが出来、7月4日に下松健康パークで実施しました。出席者は社友会のメンバーを中心に58名の参加でした。中でも女性の参加が17名あり大変華やかな会となりました。遠路は東京や近畿、四国、九州と各地から参加いただきました。懇親会の次の日はゴルフ大会も催され大好評でした。

第3回を平成24年7月7日に下松健康パークで実施しました。出席者は第2回のメンバーに加えて新しいメンバーを迎え48名（内女性は11名）もの参加者で、会がマンネリにならず開催する事ができほっとしました。今回も遠路各地からの参加もあり、また48名もの参加者が有った事を喜んでいます。

次回も3年後に開催したいと思っており、アンケート調査の結果、3年後には大島町にてという意見が多く有りました。

OB会以外では、なかなか集まる機会はありませんが、毎年4月と9月には有志が集まり、花見や果物狩りなどを楽しんでいます。山口県は細長くメンバーも点在しており日ごろは連絡があまり取れていません。今後は、会員の日ごろの近況や出来事等をなるべく収集していきたいと思っております。

これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。



女性の参加も増えた第2回山口シャープOB会、平成21年7月下松健康パークにて



多数の遠路参加者を迎えて、た第3回山口シャープOB会、平成24年7月下松健康パークで

老年をたのしむ

関西・中部・関東地区地区委員長 中島 一

社友会の広島支部が創設20周年を迎えることになり
お喜び申し上げます。

その末端の新関西グループのOBは少人数で畿内8人・
中部1人・関東3人のグループですが、距離などの関係から、
集まって何かするまでに至っていません。畿内在住の本社支部の方たちとは月1回、同期入社メンバーと年1回の割で集まる機会がありますが、広島関連のOB会としても、なにか始めねばとは思っていません。そこで今回は、私が会社（広島）を離れてから15年、もう少しで後期高齢者の仲間入りをすることになりますが、私なりの老後における雑感などをお話してみたいと思い、何かの参考になれば幸いです。

定年後、私の家族が住んでいた所が阪神間に有り、阪神大震災に遭遇した家族の勧めも有り、震災でお世話になった皆さまへの恩返しを兼ねて、森林や自然を守り啓蒙しているNGO団体に加わり、事務局を手伝っています。その会の中で、学生さんや支援者の方々と森林・自然との関わり具合を話している中で、会の趣旨である木(樹)について“学ぼう”ということで、木や竹で作られた畿内の町並民家を訪ね歩いています。

日本の古い町並みは、その歴史の中で培われたもので、それを形作る木造建物は何世代にもわたって、住み続けられ大切に保たれてきました。環境を守るための目的がそのサステナブルにあるとすれば、これ以上の教材はありません。畿内の各地を歩き始めて、感じることは、訪れた町家や町並みは現在も現役で生きていると云うことであり、毎日が日常であるということです。何世代も家を使いながら住み続けるということは、家屋のメンテナンスだけでなく、めまぐるしく変わる世の中の変化に対応しているわけで、かなりの努力が払われていると思われれます。それにつけても、町を守る人たちの共通していることは、全てが清潔に維持されて町を誇りにしており、暖かい人が多いということです。そんな町だから残されているのかもしれませんが、これらは城下町、門前町、里坊、茶屋町、宿場町、寺内町、環濠集落など多様な形式の集落ですが、その一軒一軒の材料（柱・梁・床板・建具・外壁など）はいずれも木を中心に

造られており、歴史的町並みは、膨大な木材の集積であると言えます。

ほんの50年ほど前まで、子供達が経験していた自然との関わりが経済的事情で失われつつあります。日本の人々が自然を敬い、自然の物を大切にする（あらゆる物が神）という心の持ち方は、西欧の一神教における合理的思想とは違った、大きな特徴でありアイデンティティだと最近思うようになりました。環境問題などの課題を思うにつけ、何かのよりどころがあるような気がします。そんな“こころ持ちを知りそして伝えてみたい”が、最近のよりどころとなっています。

定年後をどう考えて、生きるかは個人の考え方で変わりますが、特に最近感じることは「時間観」が年齢と共に“短くなる”と感じる事です。その時間観を“あせり”ととるか“余裕”ととるかの問題ですが、時空概念が「空＝無ではない」であると言う発想、宗教者は、だから能動的になれと言うことだそうですが、我々には“成る様にしかならない”としか解せません。一方で、「何かによって生かされている！」「自分で何かを見つけよう！」であるはず、の考えかたがあり、「我々が生きることが大切です！」と言われていますがよく判りません。課題は「時を忘れる楽しみ」がまだあるはずと、若いときに感じた未練が残っているからでしょうか？ そんなものは無いよと思いはするのですが――、そのこと（仏教の言う世欲でしょう）に期待してしまうのです。それが“若さの秘訣”である、生きがいとするのは俗なのでしょうが？ そう言った意味で今後の課題は、人は年を取ると、どうすべきか！

“Anti Ageing”でなく“With Ageing”でゆきたいと思っています。



奈良県橿原市今井町 町並



三重県亀山市関町 関宿の通り



奈良県五條市新町 古い町並み



京都府南丹市美山町 かやぶきの里

SFOBP(Sharp Fukuyama OB Party) 活動状況

福山地区委員長 星野 高範

福山地区会（SFOBP）は昨年5月に発足させてもらいました。比較的遅く1985年（S60年）操業の福山事業所ではありますが、定年退職社友会メンバーも徐々に増えつつあることから、福山近辺に在住の社友会有志から福山地区でも時には会合を持ち「シャープという会社で共に働いたというネットワークを大事にして、なにがしかの相互の助け合いができれば良いのではないだろうか」という事から2011年年末の忘年会、2012年4月の花見会を呼びかけで集まったのがスターです。その後、社友会広島支部役員殿のご尽力により2012年5月に「社友会広島支部福山地区会として発足をさせていただきました。現在28名の地区メンバーがあります。メンバーは福山市を中心に近辺（三原市、笠岡市、浅口市など）に在住の社友会の方々です。現在のメンバーはまだ比較的若く？ まだ就業されている方、日々自己研鑽に集中されている方、在住の地区で新たなネットワークを作られている方等々、皆さん元気で活動的でありますので、この社友会ネットワークが今すぐなにかという事はないのですが、10年後20年後に少しでも何かの役立てる最後のネットワークでありたいと思っていますところです。

❖活動状況（SFOBP面白倶楽部）

- 1) 年3回は全体会合を持つ、①4月の花見、②7月の納涼会、③12月の忘年会、又、それぞれの会の後にはカラオケ大会が定番で皆さんの楽しみです。できる限り沢山参加して欲しいのですが、参加はだいたい3割ぐらいで参加者を多くしなければと考えています。全体会合では福山地区会の報告として会計報告、活動状況報告を会報作成し報告をしています。(2013年4月4日第3号)
 - 2) それぞれの活動では、会員各自の得意とすることでその都度参加者を募り実施。
- ゴルフを極める会：一番多くのメンバーが集まります。春と秋の年2回、一泊二日の2ラウンドゴルフの会、又、随時メンバーを募っての健康、楽しいゴルフの会も行っています。

- 山歩き：毎回の参加者は残念ながら2名のみ、先日の神島八十八箇所巡りでは3名。昨年より先ずは地元の笠岡十名山で開始、八山完了残るは笠岡諸島の二山。神島八十八箇所巡りも開始。少雨中止、天気の良いときに気持ち良いがモットー、従って冬、真夏は登らない。今年はこの時期は森林散策など気持ちの良いものに挑戦の予定。
- 魚釣り：昨年夏に海での舟釣り会を開催、多数の参加者あり。
- 園芸倶楽部：草花、蘭、花木の栽培、菜園の情報交換。熱心に花苗、花木苗木を増やしていますが、もらってくれる人が少ないのが悩み。

現在の活動は以上ですが、ボーリング、将棋、囲碁、麻雀なども仲間を募りたいと思案中。

❖その他に、

- ・フルマラソンを頑張っている人、
- ・社交ダンスを頑張っている人、
- ・旅行を楽しんでいる人、
- ・若いので就活中の人、
- ・親御さんの介護に頑張っている人、
- ・地域の公民館活動に頑張っている人、
- ・畑を借り野菜作りに励んでいる人、

等などで、皆さん未だまだ元気で色々なセカンドライフは充実の様子です。社友会まとまっての地域活動はまだまだですが、皆さんそれぞれが一息つけば、これからの課題と考えています。

これからのSFOBPの目指したいところ、①少しずつ全体会合の参加者を増やしていく。②山歩きなど体力維持、健康増進の参加者を増やしていく。③会員のネットワークを細々でも切れないようにしておく。

以上、これからも息長くSFOBP活動ができればと思っています。



福山市の備後ハイツで4/4に花見会



作州武蔵GCで4/24-25に一泊二日のゴルフ大会

名付け親・阿川忠亮(会員番号456)

- 語源：辞書には、音響・こだま・傳播する振動とあり、私達の永年勤めた「音響・通信」と言う音に関係した職場であることより、定年後の生活に情報の伝達と会員の元気な声を響かせ意識を強めることを意図し採用。
- 地模様：広島といえば安芸の宮島、宮島は鹿と紅葉、紅葉の青葉も美しいのですが、秋も深まり落葉前の錦に輝く紅葉は、殊更美しいものです。私達、社友会・会員も、人生の大仕事を終え、第二の人生を輝かしく終わる為、日々努力している姿を錦に輝くもみじの葉を圖案化し地模様にした。



ロゴデザイン・山口正光(会員番号3513)

- キーワード：タイトルデザインコンセプトは「セカンドライフは楽し豊かに」そしてキーワードは「明るく・元気・お酒もするし恋もする・人もいろいろ・やることもいろいろ」そんなイメージで作成。
- 編集方針：支部会報15周年を記念して平成21年(2009年)最初の49号(新年号)より、構成を縦書きから横書きに変えて、ひびきのデザインも従来の”ひびき”から現代風な“hibiki”へと一新致しました。会報を編集する広報としては、編集作業のスピードアップと読み易く・興味を持って見て頂ける会報に内容を変えて行きます。

広島支部20周年記念によせて

“ひびき”の名付け親

阿川忠亮(456)



広島支部結成20周年を迎えられました事、何よりおめでとうございます。

社友会の皆様も、同好会の活動などを通じて充実した生活を図られておる事とお喜び申し上げます。

さて私は、社友会広島支部結成時に参加させて頂き、縁あって“会報ひびき”の名付け親になりましたが、1年足らずで関西・関東に転居し、支部の活動に何のお手伝いも出来ず心苦しく思っておりましたところ、支部結成20周年に際し投稿のお話がありお受けした次第であります。20年前の結成記念の写真を見ながら、歳月の早い流れに感慨ひとしおです。また、結成当初の会員数から現在何十倍もの仲間になりましたが、これからもこの仲間が増え、末永く盛会でと願うものであります。“ひびき”と言う言葉で思い出すのは最近の地震の多い事であります。私事で恐縮ですが、関西で在住時に阪神淡路大震災に、関東へ転居しまして東日本大震災と有り難くない地ひびきの洗礼を受けました。それで思い出しましたのが私の父の若い時の話です。今から90年前、関東大震災の時シャープ創業者の早川徳次翁が当時売り出し中の繰り出し鉛筆

“シャープペンシル”の販売のお手伝いをさせて頂いていたのですが、その商品を担いで地震と火災の中マンホールに避難させ難を逃れた事を聞きました。

そんな事のご縁で私はシャープにお世話になりました。その点、広島の地は大きな災害が少なく恵まれているのではないかと思います。

話が変わりますが、事業本部の一角に音響商品開発のための“無響室”がありました。海外からのお客様に音響商品の紹介のため、よく無響室にご案内しました。雑音のない素晴らしい音を聴く事が出来ますので感動された事を覚えております。すなわち、雑音のないところで聴く音がこんなに耳と言うより心に響くのかと感銘したものです。心に届く(ひびく)商品をこれからも作り続けてほしいものです。

社友会の皆様、活動の成果やご意見をこの“会報ひびき”を通して盛り上げ、ひびかせてください。

最後になりましたが、今後とも広島支部のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。

支部結成20周年記念号の表紙デザインについて

社友会広島支部 広報担当

結成20周年記念号の表紙デザインを“hibiki”のロゴをデザインして戴いた山口正光(3513)さんにお願ひしました。デザインはシンプルで衝撃的なデザインですが、デザインコンセプトは、従来のhibikiとは全く違うイメージで差別化し、誰が見ても判り易い“シンプルで単純明快”なデザインにしたとの事です。このシンプルで単純明快なデザインには、20周年を節目と

し、この真っ白なキャンバスに新たな歴史を刻んで欲しいとの強いメッセージが込められていると理解しました。

支部結成20周年を迎え、支部の会員数は500名を超え、30周年、40周年に向けて広島支部の発展を願い、この結成20周年特別号が、広島支部の良い記録集に成る事を願っています。

広島支部設立に思う

元ひびき編集者 新田 保(453)

記録はありませんが、21年前に社友会本部を通じて当時の古藪社友会会長に広島支部の設立を希望しましたが、会員数が少ない事や運営費の問題等々の諸問題が多く、実現しませんでした。

時は過ぎ会長が太田氏に代わり、再度、社友会本部を通じて会長との面談をお願いした所、会長にお会いできる機会を検討して頂き、後日、直接お会いできる事ができました。前回と同じ様なお話も出ましたが、今は会員数が13名ですが、3年5年先を見て頂きたいと懇願しました。結論は問題があるが考慮する、との嬉しいご回答を頂き帰途に着きました。

その後、本部との交信をする中で広島支部の結成が許可されたようです、との連絡がありようやく支部設立の運びとなり、その旨を事業部の幹部の皆様にお伝え

し、その準備に取りかかる事になりました。

とりあえず社友会室の確保から始まり、当時は山口総務部長様のお力を得て資材部の横の2坪の部屋を確保できました。お蔭で、平成5年7月15日に太田社友会会長と吉江幹事代表を広島事業部にお迎えし、又、広島事業部の幹部の方々のご臨席を賜り、盛大に結成記念式典を行うことが出来ました。

最後になりましたが、広島支部結成時には社友会本部の皆様、事業部の幹部の皆様のご配慮を頂き誠にありがとう御座いました。詳細は省略させていただきましたが、山田順代表幹事と同行出来、今では懐かしい思い出となりました。

担当した僅かな体験を振り返る

元ひびき編集者 車角 裕規(1064)

幹事を担当するなら「広報担当」と志願

1997年(平成9年)に入会したが、その後の2年近くは、社友会行事にはほとんど参加しなかった。それなりの理由があって、その結果であったが、1999年(平成11年)5月の第6回支部総会にあたって、山田支部長から幹事就任を強く要請された。回避困難の様相もあり、面白そうな感じから「広報担当」ならやってもいい、と返事をしたが「会報」から「ホームページ」へと広報活動の實際を体感できたのは、幸運でもあったと思う。

支部会報「ひびき」の定型化

年2回の発行、B4版両面2ページ、ワードプロセッサ一印字・貼り付け、両面別途コピーなど、会報による情報発信には問題を包含していた。総会報告を主とする第11号は、在来の方式を踏襲したが、紙面の構成や掲載情報などは、私の主張を反映させた。また、次号より紙面サイズをA4版8ページとし春夏秋冬の四季に発行する年4回とした。さらに、複写機による所要部数準備の必要から印字の鮮明化も必要で、編集作業はパソコンでの作業に切り替え、写真や挿入カットなどの鮮明化に配慮した。この部分は編集作業の時間短縮化にも機能した。

某所で参画したホームページ立ち上げが役に立ったが…

2002年(平成14年)7月、社友会本部がホームページを公開した。支部の開設を推奨する本部の動きがあったとは思わず、定例幹事会でも特段の開設に関連する発言は無かったと記憶する。何処も同じらしいが、発案者が主導するという傾向があるので、我々の世界でも同様のようだ。

2006年1月を目標にして支部ホームページを開設するようやく、幹事会に提案できる環境が整い準備作

業を始めた。始めたら、次から次へ新たな課題や条件が発生する。2005年12月末、なんとかテスト版公開にこぎつけた。ところが、開こうとしたら開けない。原因も理由も判らない。なんと、ページを構成するデータがサイトの外のフォルダに保存されている!!。サイトの内外に同名のフォルダがあり、これの修正に大晦日の夜半まで時間を要した。明けた元旦には、お粗末ながらも形はできた。当面、ペーパーとウェブの二足の草鞋を、交互に履くことの混乱と、集中力の減衰には、思いが至らなかった。

同好会の活動内容は、同好会自体が主体的に対応するホームページを構成する内容の中で、活動の予定や結果の報告は、それぞれの同好会で担当することとした。そのため、使用するアプリケーション操作の講習を実施したが、必要なマナーや節度などの礼節には触れなかったのが悔やまれる。



広島支部のホームページを平成18年1月に開設
開設時の記念すべき最初の窓

発足20周年に寄せて

元ひびき編集者 大久保 進也 (1301)

広島支部の広報担当をさせて頂きしましたが、それまで会報作りなど経験もなく、当初は紙面作りとパソコン操作を先輩に教わりながらの作業でした。会報は役員、各同好会から提出される原稿や写真と会員の寄稿文などを基に紙面構成を考え、長過ぎる文章や回りくどい表現などは遠慮しながら修正させて頂きました。また、会報には何か目新しさが欲しいと、話題性のある会員や、遠隔地の暮らしは如何に等の情報を求め、これぞと思う方へ原稿をお願いし、断られることもありました。こんな会報作りにも、少しは慣れてきた頃の「第41号ひびき」が印象に残ります。この号は役員、同好会など通常の記事に加え、丸山さんが「筆の里工房主催の絵手紙展で奨励賞受賞」に応募し今井さんが「東広島美術展 工芸展で優秀賞受賞」、西尾さんが「ハワイ・ホノルルマラソンを完走」など、話題盛り沢山で作り手も「すご～い！」と思いつながら、紹介したのを覚えています。

更に、この号には秋季九州旅行（柳川舟下り、嬉野温泉、大宰府天満宮、九州国立博物館、吉野ヶ里歴史公園めぐり）の記事があり、宴会が「里見誠次郎」こと原誠吾さんの「瞼の母」で大いに盛り上がったことを記しています。原さんはこの後、2007年の「白川郷と飛騨高山」旅行でも、芝居用の大道具一式を東広島から運込む熱の入れ様で、助演女優？も加え再び「瞼の母」で楽しませております。（ひびき第45号）この様に、演劇に情熱を燃やされた原さん、残念なことに故人になられましたが思い出に残ります。

最後に、7年ほど広報担当という思いがけない経験をさせて頂きました。この間、原稿や情報を提供頂いた方々に改めて御礼申し上げます。また、広報担当の皆さんの今後のご活躍を期待いたします。

ひびき

Change, we can!

hibiki

元hibiki編集者 柴垣 孝佳 (3846)

私が広報担当役員を承った時期は米オバマ大統領がChange, we canで初当選しており、改革の嵐が吹いていた時期にあります。又、新役員として参席した当初の役員会で、現状の「ひびき」は文字が小さく（新聞各社共活字ポイントを大きくし、カラー写真を取り入れる等改革されていた）読んで貰っていないのではないかと、みんなに読んで頂けるよう改善が必要であると役員会で決定いたしました。正直私が役員に成り立てで、こんな課題に取り組まなければいけないのかとの疑問も持ちましたが、できるだけ要望に沿えるよう検討しました。まず広報誌名をどうするか、シャープの広島工場はラジオから始まり、オーディオを中心とする「音」を中心とする事業でスタートしてきたこともあり、誌名「ひびき」はそれをうまく表しておりこれは外せないだろうから残すことにしました。

次に当時の「ひびき」は縦書きで上から下へ、又、上に戻り下へ読んで行くスタイルでした。しかし、人間の目は左右横に並んでおり、横に読むことの方が読みやすいことから横書きにしました。又、文字も明朝体9ポイントからMSゴシック体10ポイントの大きな文字に変更し、読み易くしました。

次に各投稿者に投稿文に加え、写真及びイラストを提供頂きビジュアル的に構成し、何かな？と思わせる紙面としました。

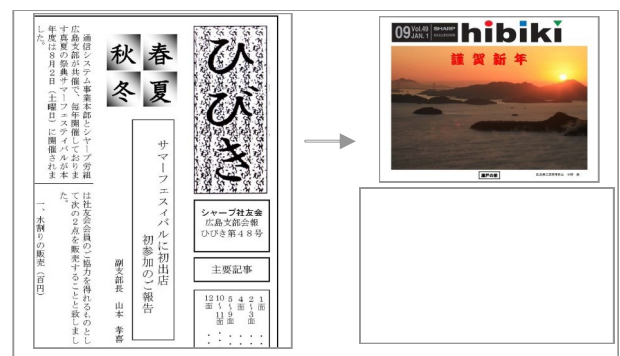
次にシャープ社友会広島支部には地区会員組織（主に営業関係で活躍された皆さんが中心になって、各地区で組織を作り活動されています）がありますが、当初の記事は東広島中心の記事となってい

ました。そこで各地区持ち回りで記事を投稿頂くようにし、幅広い内容を取り入れることとしました。

そこで、誌名の「ひびき」を横書きにするだけではイメージが一新されませんので、デザインセンターOBの山口さんに「ひびき」の横書きバージョンのデザインをお願いし以下の通り変更しました。

尚、hibikiの発行に関しては投稿者皆さんのご協力により、早期に原稿提出を頂いたりしたこともあり、あまり苦労はありませんでした。投稿者の皆さんにはご無理を申し上げご協力を頂きましたこと、紙面ではございますが再度お礼申し上げます。

最後にシャープ社友会広島支部へのご願いですが、社友会OB及び配偶者も年老いてきており、一人きりの方が多くなってくると考えられます。この人たちの生きがいが見出せるようなイベント（1人での食事は侘しいものであり、例えば、料理教室を兼ねた食事会を開催）等の組織造りを期待します。



歩み

※会員数：年度初めの在籍人員、但し、広島支部の1993年度は結成時人員、※シャープ㈱及び、社友会本部の記録は社友会30周年記念誌より引用

元号	平成5年	平成6年	平成7年	
西暦	1993年	1994年	1995年	
支部長	石井 寛二	石井 寛二	山田 順	
会員数(名)	13	19	24	
社友会 広島支部	<ul style="list-style-type: none"> 7月15日 広島支部結成式実施 第1号「ひびき」10月発行 支部発足時5つの同好会活動中 第1回秋季懇親会開催「三原保養所」 	<ul style="list-style-type: none"> 新春年賀会開催 第1回総会 於：ラポール広島 秋季親睦旅行「湯本温泉・青海島」 5月：紅葉会 会員数27名で発足 	<ul style="list-style-type: none"> 7月12日石井初代支部長ご逝去 新春年賀会開催 第2回総会 於：ラポール広島 秋季懇親旅行「壱岐の旅」 インドネシアに半導体生産会社SSI設立 	
社会・経済・業界	<ul style="list-style-type: none"> 皇太子・雅子様ご成婚 自民党政権崩壊、細川連立政権誕生 	<ul style="list-style-type: none"> 政界再編、村山政権誕生 関西国際空港開港 1\$ / 100円突破 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄サリン事件起こる 阪神大震災発生 6300人死亡 	
社友会本部 シャープ㈱	会長	太田 諄一	太田 諄一	太田 諄一
	全会員数(名)	233	287	372
	社長	辻 晴雄	辻 晴雄	辻 晴雄
トピックス	<ul style="list-style-type: none"> 広島支部発足 総会「信貴山観光ホテル」にて 秋季懇親旅行「伊那路」 高視野角TFT液晶技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> 東京支部発足 総会「箕面スパガーデン」にて 秋季懇親旅行「皆生温泉」 住宅用太陽電池商品化 電卓開発30周年 	<ul style="list-style-type: none"> 総会「南港サンビア大阪」にて 秋季懇親旅行 中国路「萩」 次世代ディスプレイ技術開発 洗濯から乾燥までワンタッチ ”新乾洗”発表 	



平成6年1月18日 新春年賀会



平成7年1月18日 新春年賀会



平成6年5月13日 第1回定期総会 於：ラポール広島



平成7年5月15日 第2回定期総会 於：ラポール広島



平成5年10月19日 秋季懇親会 於：三原保養所



平成6年秋季親睦旅行「湯本温泉・青海島の旅」



平成7年秋季親睦旅行「壱岐の旅」

平成8年 1996年	平成9年 1997年	平成10年 1998年	平成11年 1999年
山田 順 35	山田 順 47	山田 順 67	山田 順 79
<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:竹原白壁 ・第3回総会 於:ラポール広島 ・秋季親睦旅行「隠岐の島」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:並滝寺湖粋園 ・第4回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「岡山ドイツ村」 ・秋季親睦旅行「阿蘇と菊池温泉」 ・全生産事業所で「ISO14001」取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催於:東広島シーホテル ・第5回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「香川の桜めぐり」 ・世界初のスタックCSP開発量産開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「倉敷名所めぐり」 ・秋季親睦旅行「四国屋島・かずら橋」 ・高音質再生1Bitアンプ技術を開発
<ul style="list-style-type: none"> ・O-157 食中毒多発 ・アトランタ五輪開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国に香港返還 ・消費税5%に 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山毒物カレー事件発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海村で臨界事故発生 大量の放射能漏れ ・コンピュータ2000年問題
太田 諄一 476	太田 諄一 632	太田 諄一 815	太田 諄一 963
辻 晴雄	辻 晴雄	6/26 町田勝彦氏 就任	町田 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「三谷温泉」と三重工場見学 ・電子レンジ世界累計5000万台 ・シャープホームページ開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「琴平」と福山工場見学 ・奈良県新庄に世界最大規模の太陽電池専用工場建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「那智・勝浦」 ・町田社長、辻相談役、佐伯最高顧問体制へ ・国内家電・情報版社SEMC発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「和倉温泉・輪島」 ・ビデオ同好会発足 ・世界初の20型液晶TV発売 ・WEB「シャープスペースタウン」スタート



平成9年1月12日 新春年賀会 於:並滝寺 湖粋園



平成10年1月22日新春年賀会 於:東広島シーホテル



平成9年5月24日 第4回定期総会 於:ラポール広島



平成11年5月22日 第6回総会 於:ラポール広島



平成8年秋季親睦旅行「隠岐の島の旅」



平成9年秋季親睦旅行「阿蘇と菊池温泉の旅」



平成10年春季日帰り旅行「四国 香川の桜めぐり」



平成11年秋季親睦旅行「しまなみ海道・大歩危とかずら橋・屋島の旅」

歩み

元号		平成12年	平成13年	平成14年
西暦		2000年	2001年	2002年
社友会 広島支部	支部長 会員数(名)	山田 順 84	出口 昌孝 121	出口 昌孝 112
	トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:西条グランドホテル ・第7回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「山口 防府天満宮他」 ・秋季親睦旅行「平戸温泉グルメの旅」 ・業界初モバイルカメラ付き携帯電話機 (J-SH04)開発・商品化 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:長寿村 ・第8回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「桜満開伊予路の旅」 ・秋季親睦旅行「湯布院・杖立温泉」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:三原みはらし温泉 ・第9回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「木次の桜並木と温泉」 ・秋季親睦旅行「足摺・四万十川の旅」 ・九州支部分離独立により会員数減 ・三原工場の稼働開始
社会・経済・業界		<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄サミット開催 ・2000円札発行 ・介護保険制度スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ・87代首相 小泉純一郎誕生 ・米国 同時多発テロ発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓共催サッカーW杯開催 ・世界同時株安IT不況
社友会本部 シャープ(株)	会長	幸 實	幸 實	幸 實
	全会員数(名)	1162	1400	1748
	社長	町田 勝彦	町田 勝彦	町田 勝彦
トピックス		<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「館山温泉」とトヨタ工場見学 ・「プラスマクスターイオン」空気清浄器の開発と商品化 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「信州時」 ・2000年度連結売上 2兆円突破 ・「AQUOS」20.15.13型3種類発売 ・関西西サイクルシステムズ稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウイーナ」にて ・秋季懇親旅行「伊勢・浜松」と亀山工場建設現場見学 ・九州支部発足 ・シャープ創業90周年



平成12年1月21日新春年賀会 於:西条グランドホテル



平成13年1月20日新春年賀会 於:長寿村



平成14年1月26日新春年賀会 於:三原みはらし温泉



平成14年 第9回総会 於:ラポール広島



平成12年春季日帰り旅行「防府天満宮他の旅」



平成13年春季日帰り旅行「桜満開 伊予路の旅」



平成13年秋季親睦旅行「湯布院・杖立温泉の旅」



平成14年秋季親睦旅行「足摺・四万十川の旅」

歩み

平成15年 2003年	平成16年 2004年	平成17年 2005年	平成18年 2006年
出口 昌孝 135	出口 昌孝 169	吉久 清春 188	吉久 清春 213
<ul style="list-style-type: none"> 広島支部結成10周年 新春年賀会開催 第10回総会 於：ラポール広島 春季日帰り旅行「旧閑谷学校・武蔵の里」 	<ul style="list-style-type: none"> 新春年賀会開催 於：ラポール広島 第11回総会 於：ラポール広島 春季日帰り旅行「大島温泉・錦帯橋」 秋季親睦旅行「伊勢・三重の旅」 	<ul style="list-style-type: none"> 新春年賀会開催 於：ラポール広島 第12回総会 於：ラポール広島 春季日帰り旅行「矢野温泉あやめ荘」 秋季親睦旅行 「歴史を訪ねる天理・洲本・赤穂の旅」 	<ul style="list-style-type: none"> 新春年賀会開催 於：ラポール広島 第13回総会 於：ラポール広島 春季日帰り旅行「小豆島 寒霞溪」 秋季親睦旅行「佐賀 嬉野温泉」 広島支部HP開設、運用開始 ワンセグ対応携帯電話「905SH」発売 業界初液晶画面を90°回転機能採用
<ul style="list-style-type: none"> 衆院選民主躍進 二大政党へ 個人情報保護法成立 	<ul style="list-style-type: none"> 原油価格高騰 1バーレル/50\$ アジアで鳥インフルエンザ猛威 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知万博開催 JR福知山線で脱線事故起こる 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次安倍政権発足 携帯電話ナンバーポータビリティ制度開始
幸 實 2070 町田 勝彦	蛇草 實太郎 2391 町田 勝彦	蛇草 實太郎 2646 町田 勝彦	蛇草 實太郎 2891 町田 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> 総会「上六ホテルアウィーナ」にて 秋季懇親旅行「三朝温泉」 若草山グリーンキャンペーン参加 地上デジタルハイビジョン液晶TV発売 太陽電池生産能力世界一284MW 	<ul style="list-style-type: none"> 総会「上六ホテルアウィーナ」にて 亀山工場特別見学会実施 亀山工場稼働 45型フルハイビジョン AQUOS発売 水で焼く「ヘルシオ」発売 	<ul style="list-style-type: none"> 総会「上六ホテルアウィーナ」にて 秋季懇親旅行「琴平と祖谷溪」 太極拳、おもしろ書道同好会発足 小泉首相亀山工場を見学 65型フルハイビジョンAQUOS発売 	<ul style="list-style-type: none"> 総会「上六ホテルアウィーナ」にて 歴史探訪の会発足 亀山第二工場稼働



平成16年新春年賀会 於：ラポール広島



平成18年1月27日新春年賀会 於：ラポール広島



平成15年5月16日 第10回総会 於：ラポール広島



平成17年5月20日 第12回総会 於：ラポール広島



平成15年春季日帰り旅行「旧閑谷学校・武蔵の里の旅」



平成16年秋季親睦旅行 「伊勢・三重の旅」



平成17年秋季親睦旅行 「歴史を訪ねる天理・洲本・赤穂の旅」



平成18年秋季親睦旅行 「佐賀・嬉野温泉の旅」

歩み

元号 西暦		平成19年 2007年	平成20年 2008年	平成21年 2009年
社友会 広島支部	支部長 会員数(名)	吉久 清春 243	吉久 清春 272	山本 孝喜 317
	トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・第14回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「松江観光」 ・秋季親睦旅行「白川郷・飛騨高山」 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島支部結成15周年 ・会報「ひびき」から「hibiki」にロゴ変更 ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・第15回総会 於:ラポール広島 ・サマーフェスティバルに初参加 ・秋季親睦旅行 初めての二泊旅行「南国の海と空＝沖縄」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・第16回総会 於:ラポール広島 ・春季日帰り旅行「京都・嵐山と御所」 ・秋季親睦旅行「長崎 吉岐島」 ・12月に社友会会員証を発行 各種契約施設を割安で利用可に!
社会・経済・業界		<ul style="list-style-type: none"> ・年金記録漏れ5000万件判明 ・米国サブプライム問題発生 世界経済混乱 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国を震源に世界金融危機 ・ガソリン価格高騰 国内一時180円/Lを突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・衆院選民主圧勝 鳩山内閣発足 ・第44代米国大統領オバマ氏就任
社友会本部 シャープ(株)	会長 全会員数(名)	蛇草 實太郎 3167	蛇草 實太郎 3548	蛇草 實太郎 3949
	社長	4/1 片山幹雄氏 就任	片山 幹雄	片山 幹雄
	トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウィーナ」にて ・秋季懇親旅行「白浜温泉・熊野」 ・片山社長、町田会長、辻相談役体制 ・堺市に21世紀型コンパクト起工 ・108型液晶TV開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウィーナ」にて ・秋季懇親旅行「淡路・鳴門」 ・東北支部発足 ・ブルーレイ内蔵TV発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウィーナ」にて ・インフルエンザ流行で懇親旅行中止 ・中部支部発足 ・「グリーンフロント堺」液晶パネル工場稼働



平成19年1月23日 新春年賀会 於:多目的ホール



平成21年1月22日 新春年賀会 於:多目的ホール



平成20年5月23日 設立15周年定期総会 於:ラポール広島



平成21年12月 社友会広島支部・紅葉会の
会員証発行 各種契約施設を割安に利用可に!!



平成19年秋季親睦旅行「飛騨高山・白川郷の旅」



平成20年秋季親睦旅行「初めての二泊 沖縄の旅」



平成20年より社友会としてサマーフェスティバルに出店参加!



平成21年秋季親睦旅行「14年振り 吉岐島の旅」

平成22年 2010年	平成23年 2011年	平成24年 2012年	平成25年 2013年
山本 孝喜 373	山本 孝喜 404	山本 孝喜 448	山本 孝喜 504 (5月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・第17回総会 於:ラポール広島 ・夏季親睦旅行(1泊) 「長崎 ハウステンポスと九十九島」 ・秋季日帰り旅行「秋の小豆島 寒霞渓」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・第18回総会 於:通信(事本) ・春季親睦旅行 二度目の2泊旅行 「立山黒部アルペンルートの旅」 ・秋季日帰り旅行「天空の白鷺城と花鳥園」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・第19回総会 於:通信(事本) ・春季親睦旅行「熊本 黒川温泉他」 ・秋季日帰り旅行「京都善峰寺・錦市場」 ・「IGZO」液晶パネル搭載のスマートフォン AQUOS PHONE ZETA SH-02E発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島支部結成20周年 ・新春年賀会開催 於:通信(事本) ・支部結成20周年記念式典開催 町田相談役、長谷川常務ご臨席 ・春季日帰り旅行「倉吉 中国庭園燕趙園」 ・20年記念秋季親睦旅行を計画 「東京スカイツリー & 鬼怒川温泉」
<ul style="list-style-type: none"> ・尖閣諸島で中国漁船が巡視船に激突 ・宮崎県で口蹄疫の被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・2011.3.11東日本大震災が起こる ・なでしこジャパンW杯で優勝 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次安倍内閣発足 ・iPS細胞の山中教授ノーベル賞授賞 ・ロンドン五輪で日本勢活躍 	<ul style="list-style-type: none"> ・為替100円台/\$回復 ・アベノミクス効果で株価高騰
御手洗 顕 4414	御手洗 顕 4546	御手洗 顕 4928	御手洗 顕 5254
片山 幹雄	片山 幹雄	4/1 奥田隆司氏 就任	6/25 高橋興三氏 就任
<ul style="list-style-type: none"> ・シャープ社友会結成30周年 ・御手洗会長就任 ・佐伯最高顧問ご逝去 ・業界初LEDシーリングライト発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウィーナ」にて ・プラズマクラスター搭載商品の世界 累計販売台数 3000万台 ・世界初スーパーハイビジョンに対応 85V型液晶ディスプレイを開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会「上六ホテルアウィーナ」にて ・シャープ創業100周年 ・酸化物半導体(IGZO)を採用した 液晶パネルの生産開始 ・奥田社長・片山会長・町田相談役体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・4K対応液晶テレビ発売開始 ・IGZO搭載商品生産拡大



平成23年1月20日新春年賀会 於:多目的ホール



平成25年1月29日新春年賀会 於:多目的ホール



平成22年5月23日 第17回総会 於:ラポール広島



平成24年5月25日 第19回総会 於:多目的ホール



平成22年夏季親睦旅行 「長崎ハウステンポスと九十九島の旅」



平成23年春季親睦旅行 「立山・黒部アルペンルートの旅」



平成24年春季親睦旅行
「熊本 阿蘇・黒川温泉他の旅」



平成24年秋季日帰り旅行
「京都 善峰寺・錦市場散策の旅」



平成25年春季日帰り旅行
「倉吉 中国庭園燕趙園の旅」

「軽薄短小時代」の反逆児 “Wカセットの創造” ……1979年

こんな話題の商品です！

ザサーチャーWGF-808は1979年8月に発売開始。業界初のカセットデッキを2台搭載し、テープ編集を容易にする事を可能にしたステレオダブルカセットレコーダー。エアチェックしたテープなどの編集でマイカセットを作りたいと言うようなニーズを簡単に可能にした。更に大出力ながら持ち運びに便利で家庭でも屋外でも使え、ホームパーティなどでの使用という新需要を創出した。



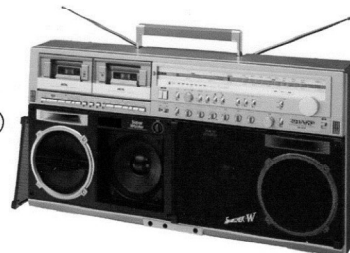
広島支部
濱田 徹雄 さん
(会員番号 4123)



広島支部
末沢 公彦 さん
(会員番号 3779)



◀ Wラジカセ 1号機 (GF-808)
標準価格：¥95,000



▶ 大型Wラジカセ (GF-909)
標準価格：¥118,000

= 事業所に今も息づくメカトロニクス技術 =

プロジェクト編成

当社のオーディオのブランドイメージは低迷していたが、テープ事業部ではAPSSという一発選曲頭出し機能をラジカセに搭載し、ラジカセの市場を活性化しつつあった。

APSSをバネに更なる新機能によって、市場の創造と事業の拡大が必要であった。このような状況を打破すべく編成されたのが86MLプロジェクトであった。ユーザーニーズの発掘・原価1/2の達成・日程1/2への短縮及びそれを具現化させる生産の革新に立ち向かうメンバーが企画・技術・生産の各部門から選出されたのであった。

我々の財産であるAPSSを生かしたラジカセをベースに、ユーザーニーズを徹底的に洗い出し、多機能な商品企画に挑戦するため夜を徹して討議が重ねられた。プロジェクトメンバーの喧々譁々の討論の末、これらを一挙に解決する方法としてWカセットというアイデアが生まれた。

他社の追従を避けるため多機能の一体メカニズムを開発し、ダビング編集機能・連続再生・同時再生等の機能が生まれた。

課題と解決

しかし一体型ダブルカセットにすることで課題も多かった。Wカセットを活かすデザインは多数のピアノタイプの操作レバーを2段に並べたものだった。従来カセットメカでも、レバー一段差、隙間等の整列品位が常に生産の課題になっていたが更に難易度の高いものであった。

これらを解決するため、徹夜で金型構想を繰り返し、レバーの中心軸となるシャフトのインサート成型のレバー一体成型技術を確認した。実現したのは量産試作の前夜であ

った。又、オリジナルテープと新しい編集後のテープの音質差で、テープ1とテープ2のテープ送り速度偏差の問題が重要と理解できた。2モータの速度が外部調整出来かつ温度変化に強いホーロー基板を使った新しい電子ガバナモーターを開発することでダブルカセットというアイデアを活かすことも出来た。生産面でも自動挿入の導入やユニット化の推進により大量生産で品質を保つ工夫を重ねた。キャビネットの大型化により大型成形機の導入なども実施された。

販売

発売以来9ヶ月で20万台の売り上げを達成し、1モデルで100億円の売り上げを達成した初めてのラジカセとなったのである。販売助成のイベントなども企画され、後の世界的なカラオケブームにつながる大型ラジカセGF-909に発展して行った。同時期に発売されたカセットウォークマンと共に後々並び称され、Wカセットは以降のラジカセのデファクトとなった。更に、輸出営業の販売努力もあり、Wラジカセの生産は3年間で累計120万台(内EX向けは約70%)を突破し、世界中のユーザーの皆さんに大きな支持をいただいた。これは、テープオーディオ時代の到来をいち早く察知し、ユーザーニーズを的確にとらえた商品企画と当社独自のメカトロニクス技術によって、特長ある商品を市場に送り出した成果であった。

遺産

メカニズムやその重要部品を自製して商品に特徴を持たせるというスパイラルな展開のDNAが現在も受け継がれている。

これらの考え方、取り組みはその後MD時代や、光ピックアップ、カメラモジュール等の要素部品事業にも繋がっていった。既存の組織からメンバーを集めプロジェクトを編成し、その中で新

たな商品を開発するという考えはその後、緊急プロジェクトの考えに繋がったものとする。

“当時の金もない、人も少ないという逆境の中、皆で工夫することで、新たな道が開けるというノウハウを得た”ことはすばらしい思い出である。



本部
石川 誠さん
(会員番号 2908)



広島支部
斉藤 正孝さん
(会員番号 2847)

○ 商品コンセプト

携帯電話後発メーカーのシャープは当時の通信機器メーカーにない「家電感覚の発想と独自デバイスによる新しい携帯電話づくり」がコンセプトでした。

1999年12月に業界に先駆けて発売したカラー液晶付携帯電話J-SH02で一定の評価を得た我々は、それに引き続きカメラ付携帯電話を企画しました。

これは、「待受に自分でカメラ撮影をした好きな写真を壁紙に表示したい」、「(当時流行していた)プリクラの世界観をカメラ付き携帯電話に取り込みたい」、「撮影した写真をメールで送って友達と共有したい」と同時に、先のモデルで好評であったカラーディスプレイを活かす用途提案でした。

○ 開発コンセプト

市場ではカメラのアタッチメント式やサイズの大きいカメラ内蔵PHS電話機があったもののあまり売れていない状況でした。そこで我々は「カメラを内蔵して当時の一般的な携帯電話機のサイズにする」を設計コンセプトとしました。

○ 小型化

最も苦労したのは、小型化された携帯電話のサイズを変えることなく、その中にカメラを収めなければならないという事です。カメラモジュールはデバイス部門の協力により部品の小型化や集積化を図り、回路/機構の開発グループが力を合せてなんとか従来の携帯電話のサイズ、重量ともに変わらないカメラ内蔵携帯電話を作り上げました。

小型化の手段のひとつがフィルムのように薄く曲げる事ができる「フレキシブル基板」です。この基板により限られたスペースに周辺回路を詰め込む事に成功しました。その他いくつかの課題も発生しましたが、全員の努力で解決して行きました。

○ 画質改善

次に取り組んだのがカメラの画質改善です。当時のカメラ(11万画素)や液晶(256色カラー)の性能では、簡単には人物の肌色をきれいに表すことができませんでした。人物をきれいに撮らなければこの商品は成功しない。事業部の回路/ソフト及び関連事業本部と共に何度もチューニングを行うことで、ユーザー様に満足頂く性能を出す事ができました。又、カメラ画像をよりきれいに見易くするための液晶の大型化に伴う導光板の改善を含めた液晶の輝度アップ、ムラの改善も同時に行いました。

○ 自分撮り

意外と、てこずったのが「自分撮り」です。一人で撮影役と被写体役をするのだから、自分の顔がフレームに収まっ

J-phone様向けJ-SH04は、2000年11月に発売された業界初のカメラ付携帯電話です。

その後の写メールプロモーションとの相乗効果で、大きな話題性と販売数を実現しました。現在、カメラはほとんどの携帯電話の必須機能ですが、その1号機となる当商品の「企画意図」「開発者のこだわりと苦労」についてご紹介します。



(正面) (背面)
カメラ付携帯電話 J-SH04

ているかどうか確認できない。どうすれば解決できるか…。

当時のデザイン担当者の目に入ったのが道路のカーブミラーでした。鏡には自分の顔が映る、しかも凹面にすればカメラと顔が近くても全部収まる。ミラーの角度を工夫してハイテクの携帯電話に昔ながらの鏡を取り付けました。完成品を見るとごく当然のように感じますが、発想した段階では目から鱗でした。そしてこれがカメラ付き携帯電話のヒットの要因のひとつとなりました。鏡の秘密の裏には、鏡に映る自分の顔のサイズとカメラサイズが同じでなければなりません。光学的なシュミレーションによる凹面形状の設計によりなされたものです。この設計には当時の生産技術開発本部の全面的なご協力を頂きました。

○ 発売の反響

この様に事業部としては自信をもって進めていたカメラ付き携帯電話ですが、その反面「カメラを内蔵するとコストが高くなってしまう」「携帯電話にカメラは必要なのか…」等、関連部門やキャリア様にもネガティブな声がありました。実はカメラレンズ部分をふさいだ「同型でカメラの無いモデル」が急遽作られたのはこの様な背景からでした。

2モデル同時に発売しましたが結果として、カメラ付きモデルが圧倒的に売れ、大成功を収める事ができました。一旦市場で認知されると、「建築現場の確認」や「救急患者の初期診療」に使われる等、我々の想像を超えた使われ方が生まれてきました。

○ 写メールの世界

その後、「写メール」という言葉が一般に浸透し、ムービー写メール、カメラの高画質化、今ではデジカメケータイと呼ばれる商品カテゴリーが出来ると、カメラ付き携帯電話は当たり前の世界となりました。さらにカメラ付き携帯電話は日本だけでなく海外でもスタンダードとなり、その意味でこの商品の創出は大変な価値があったと感じています。

○ 最後に

広島のご伝統である「みんなで力を合せて、苦しい中でも楽しくチャレンジする精神」が見事に発揮された「カメラ付き携帯電話機の開発」。

今も、そしてこれからもこの精神がずっと生き続ける事を確信しています。カメラ付携帯電話機の開発に至るまでには電話機、PHS、携帯電話機の一連の開発の積み重ねの苦労が実を結んだものである事を忘れてはなりません。

最後に、原稿作成に際し、現在も現役でご活躍されています通信システム(事)の植松副事業部長様のご協力を頂いた事に対し厚くお礼を申し上げます。



広島支部
増田 清さん
(会員番号 4700)



SM-SX100-G



早稲田大学 山崎教授

CD全盛時代のデジタルの音をどうすべきか

当時の音響研究所長の下でマルチビット駆動スピーカの試作をしたが性能が得られず、浅田副社長、安永事業部長より早稲田大学山崎教授研究の1ビット技術を使えばとのアドバイスを、早稲田大学と共同研究を1991年5月より開始。

1ビット技術によるA/Dコンバータ、赤外線伝送等の開発を経て1997年1.4MHzの1ビットアンプを完成させた。

通産省IPA事業テーマ「マルチチャンネル再生による音場制御技術/VR音空間創造技術」を早稲田大学と共同研究で推進し、スクリーン裏側に12個の1ビットアンプ搭載パワードスピーカを配置、スクリーン映像に映る歌手、楽器等の位置から音を出す公開実験を1998年5月に実施した。

この音の良さに当時の濱野オーディオ事業部長が「1ビットアンプを商品化する」との方針の下、プロジェクトチームCVI2006が発足した。益田企画部長より「商品化と同時期にSACDが世の中に出てくるので2.8MHzの1ビットアンプが必須である」との事から、その年のオーディオエキスポ'98に試作機を出展し、世界初の高音質1ビットアンプとして好評を博した。

当時、新本副社長より、「3D方式ミニコンポでなく、最高級ゾーンの100万円1ビットアンプから、段階的にゼネラルオーディオへ展開を図るシャワー効果を狙うべきである」と方針を出され、SM-SX100の開発が始まった。

「1ビット技術は、シャープにとって液晶、太陽電池、電子レンジに次ぐ技術である。大切に育てる必要がある」と町田社長の指示もあり、オーディオ事業始まって以来の単品で100万円の商品開発に拍車がかかった。

1ビットアンプ開発について

SM-SX100のデザインは、多くのデザインモデルを作成し、ようやく $\Delta\Sigma$ 変調をイメージさせるアバンギャルドな逆台形デザインに決まった。この斬新なデザインは、内部容積が大幅に少なく、1ビットアンプにとり、ぎりぎりの容積となった。

高速2.8MHzで1ビットスイッチングをさせるには、国内の部品では、性能不足で、米国で軍需用に開発された多くの部品を採用し、アンプ主要部の手作りサンプルが出来た。しかし、高速1ビットスイッチングさせるも、素子破壊、省電力化で電源効率を上げる為に採用したスイッチング電源の

部品の鳴き、発生するノイズ問題、スイッチングが矩形波であることで無限大周波数まで伸びる不要輻射と、その原因究明、対策に追われる日々であった。

アナログ技術、高周波技術、デジタル技術に対応する開発で3倍の手間を要したものの、なんとか1号機の商品化に漕ぎ着けた。連日の徹夜でノイズ低減に追われたが、0次試作機の試聴をオーディオ評論家故朝沼先生にお願いしたが、「この音は、血圧70のか弱い女性の音がする」と言われデジタルノイズとの葛藤は、最後まで続いた。

1ビットアンプの生産遅延

生産したSM-SX100を1台ずつ1ビットラボへ運び、全数音質確認と言う最終検査をしたが、

- ・各部品の固定ネジの締め付けトルクのバラつきで、それぞれの音が異なることが判明。
 - ・大出力時にスイッチング電源の発振トランスが鳴り出す。
 - ・マルチビット信号を1ビットデジタル信号に変換する回路部での、音が小さい低レベルでのノイズ。
- ……等々の問題が発生した。

この段階での生産遅延に対し、元生産担当清水副事業部長が、開発メンバーに毎日檄が飛ばされ、梵鐘の余韻に含まれるノイズ除去の作業が続いた。技術部居室での、連日の梵鐘の音も懐かしい思い出となった。

このような経過の後、3カ月遅れの'99年10月発売となった。

販売訴求に向けて

CVI2006の販売体制は、開発と営業のメンバーで構成された。これは、早川創業者が、シャープペンシルを発明し、売り歩いた時と同じ考えで、シャープDNAを引継ぐものであった。

国内は液晶ビューカム立上げに尽力された林参事を中心に、布村副参事、川原氏が担当、欧米は、片野参事を中心に推進。試作機、製品を国内外の大型店、オーディオ専門店へ持ち回り1ビットアンプの素晴らしい音を試聴頂く訴求を推進、並行し国内外の著名オーディオ評論家や雑誌社、放送媒体等多くの媒体で1ビットアンプが取上げられ大きな反響を呼んだ。このように1ビットアンプが世界のオーディオ史に大きく功績を残す成果を得た。

その後、当時の濱野本部長と米国出張時に「シャープの音造りは早川創業者のラジオ造りから始まっている。これで、これからも世の中に音を残せる。1ビットの開発メンバーは矢板に来てAQUOSの音を改善して欲しい」との指示で矢板に集結し、液晶テレビに1ビットアンプが搭載された。

AQUOSをお買い上げの多くのユーザーから、自宅に居ながら実際に観戦や観劇をしている雰囲気でも音を楽しめるとの声を多数頂き、これからも1ビットの音を世に提供し続けるであろうと思っている。

1ビット技術は、増幅のみならず伝送、記録、環境分野(エネルギー消費削減)で展開可能な技術です。今後も、後任の若い方々に1ビット技術開発の継続を託し、独自のオンリーワン商品創出の願いと「誠意と創意」の社訓の下で活躍を期待します。

「MADO」96号より
(1967年)

業務内容は、稲川課長以下総勢28名(内女性6名)で、一口で言えばTRラジオをいかにして安価で高品質にし、世界に送り出すかを検討し、効果を確認するスタッフ的な業務をしている。組織的にみると設計部門である技術部と製造部との中間にあり、ステレオ、テレビ等の業務と違って、その業務内容は幅広く、新製品の試作検討、原価検討、作業指導票、二次加工指図書・・・等多岐に亘る。



広島支部
山口春香さん
(会員番号 2070)

「転勤直後はホームシックになる者も」
・・・しかし、我等にとって今や青春

昭和40年代に入り、大阪・奈良と関西地域を地盤としてきたが、増大する需要に備える為、昭和42年、広島県の八本松町にラジオ・トランシーバーの専門工場が展開されました。この地域は国道2号線に隣接し、国鉄の駅にも近く立地条件に恵まれていたが、地域の再開発途上であり、工場周辺から隣町・西条までの国道沿いにも殆ど家は無く、西条の商店街ですら小さな店舗がまばらといった状態でした。

当時19歳から28歳前後の遊び盛りのおお阪平野工場からの転勤者にとっては少々不安を感じたものでした。又、初めての冬には観測以来最高と言われる50～60cmの積雪に見舞われ、通勤手段も奪われ出勤もままならない状況で、大阪方面に向かって恨んだ事も幾度かあったように思います。

新工場の敷地面積は70,335㎡。建設された新工場は、途方もなく広く、又、冷暖房を完備しており、工場周辺の住民の方からは羨望の眼差しで見られていたものです。

さて、試作検討係は生産技術課に昇格。ボスは稲川課長、褒め上手な上司で、親分肌の頼りになる方でした。



張家界 (湖南省・武陵源)



バンジーとストックの手入れ

生産技術の業務は、新製品の試作検討から、生産工程分析、作業指導書、標準時間の設定、VE検討、二次加工先への加工指図書作成など多岐にわたり、更にはトラブルの処理なども行っていました。若手が中心の陣容で結束力は強く、稲川課長の指導の下、全員が一丸となって難題を乗切ったものです。

当時の生産はトランシーバーの他、トランジスターラジオ(FV-1700)等。多バンド化の上、車載/携帯兼用製品等、他社に無いものが主流となっていました。この頃は電子チューナーは殆ど無く、大半はR、C、L類の手動調整で、作業には熟練を要し、この調整が直接性能を左右する為、新製品のライン投入時は、生産技術と生産部と共同で立上げたものでした。

ある時、月末を控え生産の遅れが大きかった協力会社の生産・修理応援に駆り出されましたが、その日の終了が深夜となり、翌朝遅刻の出勤となりました。出勤するやシャープの責任者に全員が"ビンタ"を食らったのです。これは生産遅れの主原因は当社側にあり、挽回に向け頑張っていた協力会社への手前もあつての事で懐かしく思い出します。

時は流れ あれから42年・・・

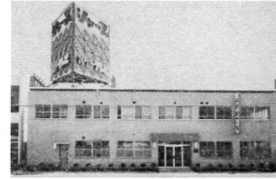
当時20歳の人ですら、もう62歳、転勤等職場移動が重なり、当時のメンバーで交流があるのは同地域に在住の数名のみです。当時のボス稲川さんは、退職後も南太電子、エクセル等中国、香港で手腕を発揮され、退任後は、ゴルフに興ずると共に近年は絵画、絵手紙、川柳等にも傾注されておられる由。

私は3年間弱のアメリカ(SEC)駐在を経て、再度広島へ帰任し品質管理部門へ。更に1991年、繁忙期を迎えていた液晶事業本部へ転出。その後、奈良で約10年間の単身赴任の後、事情あつて定年まで一年を残して退職。広島に帰り、社友会に入り沢山の友人を得る事ができました。

今日この頃

社友会では囲碁将棋、ゴルフ、釣り、パソコン等、殆どの同好会に積極的に参加し、更に外部の水墨画教室や書道教室等に通うなど忙しく走り回っている今日この頃です。ゴルフやあるこう会等は身体が動く限り、水墨画は筆が握れる限り続けたいものだと考えています。したい事は何でも挑戦できる!我等にとって今こそ青春なのです。

「MADO」95号より
(1967年)



大阪から特急で約6時間。山陰シャープは駅より東へ車で5分、山陰の動脈国道9号線に面して、躍進シャープの発展を象徴するかの如く、どっしりと新社屋をかまえている。

昭和30年、早川電機松江出張所としてスタート、その後諸々の拡大を経過して41年2月に鳥根、鳥取両県をエリアとして設立。鳥取(営)、浜田(営)の出先を設け、市販37名、中国月販29名の陣容で、両社社員が一致団結、豊かな協調性をもって山陰シェア拡大に日夜邁進している。市販月販両社の社員の結束の強さと明朗さは、当社自慢の一つである。



広島支部
伊藤博光さん
(会員番号 5005)



広島支部
山澤純一さん
(会員番号 2623)

フ発祥の地で近所の仲間と暇をみてはボールを打ち月3、4回は200人～300人集まる競技大会に参加しております。グラウンドゴルフを嗜む平均年齢は72、73歳位で、そこではまだまだ若者で通る楽しさもあり、手軽に健康維持とストレス解消できる最高のスポーツと自負しております。

山陰は、鳥取・鳥根両県をまたぎ東西に非常に長い間、今まで各出先単位でのOB会がなされていましたが、近年オール山陰でのOB会も計画されるようになり、昨年第3回目が鳥取地区で開催され総勢40名の出席がありました。昭和41年当時のメンバー7名も集まり(遠くは鹿児島・福島)旧交を温めました。

髪の薄さ白さは多少気になるものの昔の面影は鮮明にのみがえり、40数年経過してもすぐ当時の話題にタイムスリップできる懐かしさは格別で、これからも多くの仲間との交流を楽しみ、大切に歩いて行けたらと願っております。

「グラウンドゴルフ発祥の地で広がる仲間の輪」

山陰シャープは松江の中心より東へ3キロ9号線沿いに位置し、当時はまだ近辺にビルは少なく屋上にネオン輝く新社屋はこれから躍進する企業としての異彩を放っていたものです。

現在ではその社屋も建て替えられ、周辺も建物がぎっしりと埋まり、松江地区では山陰道も開通し大きく変わっております。

当時セールス1年生だった私の営業車両には、カーラジオはもちろん暖房用ヒーターも無く、冬場の営業活動ではフロントガラスに雪が氷結し、途中で何度も車を止めては取り除いて走ったこともありました。

職場にはアットホームな雰囲気が漂い、仕事も遊びも素晴らしい上司・先輩に恵まれ活気あふれる日々であったように思えます。

リタイアして4年余り、我が菜園も何とか様になりつつあり、地域の自治会・公民館活動に参加しながら、グラウンドゴルフ



オール山陰OB会



地域の仲間とグラウンドゴルフを楽しむ

「MADO」99号より
(1968年)

愛媛県のほぼ中央、波静かな瀬戸内海に面して美しい風光と温暖な気候に恵まれ、道後温泉の国際的な観光温泉都市と、郊外の広々とした田園地帯がうまく調和した一大都市・松山。

松山を中心に東は今治・西条・新居浜、南は八幡浜・宇和島と、第九営業部随一の守備範囲を持ち、各地区に営業所・出張所を配備、愛媛県下140万人余の大需要を一人たりとも逃がすことなく、販売網の充実と綿密な販売体制が着々と整えられつつある。

愛媛シャープの社屋には、四国シャープ月販松山出張所が設置されている。

人員構成は、松山地区25名、宇和島営業所15名、新居浜駐在所6名で平均年齢も24歳と若さに溢れている。



本 部
三好 勝治 さん
(会員番号 2551)

「木造社屋独身寮での雨漏り事件も
今は良き思いで」

あの頃は

当時、村上専務以外は殆どの社員が独身、休日返上で予算達成に追われる日々でした。仕事以外では社員同士で行動する機会も多く、恋が芽生え社内結婚カップルが3組誕生、楽しい青春時代をすごしました。また、社屋が古い木造2階建て、寮生の部屋が時々雨漏りする為、天井に大きなビニールを貼り付けていましたが、ある夜、大雨となり雨水の重さに耐えかねて、無残にも布団の上へ「ドシャ〜」。部屋は水浸し、ぐっすり寝込んでいた我々は、何事かと驚き、飛び起きた出来事もありました。その後、間もなく立派な新社屋へ引っ越しましたが、今は懐かしい思い出になりました。



懐かし愛媛シャープOB会

私の今日この頃

私は定年後、糖尿病と診断され、今迄の不規則な生活から健全な生活に戻そうと「ウォーキングクラブ」に入会しました。

お遍路さんをイメージして「年間1400kmを完歩する」という目標を持ってほぼ毎日6kmウォーク、何とクラブで2番目の早さで達成できました。

これをキッカケに地域活動に参加し、現在は長寿大学の2年生です。部活ではゴルフクラブの発起人となり、月2〜3回程度、仲間とプレイを楽しんでいます。

当事の愛媛シャープOBやFS店さんが一緒になり、「愛媛シャープ電機時代の仲間の集い」を2年に1回開催。村上専務(当時)を囲んで、30人ほどが参加、「初荷の祝酒で大暴れした社員」、「こんなことも出来んのか辞めてしまえ!」と怒鳴られ、其のまま会社を飛び出して「上司を慌てさせた社員」 etc. など、若かりし頃の話で盛り上がり、翌日親睦ゴルフも楽しんでいます。

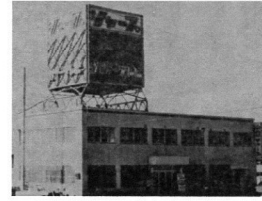
また、四国地区の勤務者で「シャープ四国OB会」を高松で2年に1回開催。全国に散らばった仲間達40〜50名が一堂に会し、酔いと共に意外な話などが飛び出し、和気藹々昔話に華を咲かせています。

翌日は、親睦ゴルフコンペで汗を流し、2年後の再会を誓い、OB会の幕を閉じています。



元四国シャープメンバーとの親睦ゴルフ

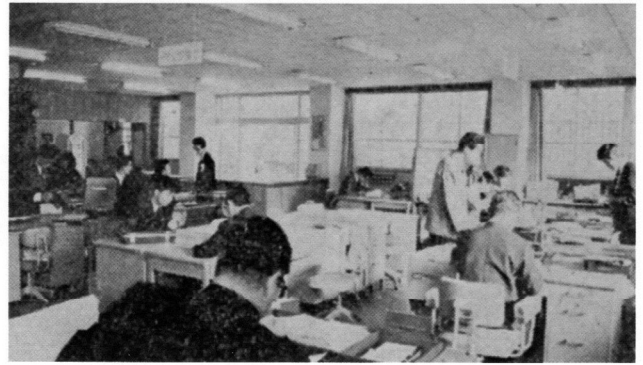
「MADO」109号より
(1969年)



今や山口県を中心になろうとしている周南石油コンビナートの中心都市・徳山市に、わが山口シャープは所在。旧中国シャープ電機より独立し防府で活動していたが、新社屋の完成(42年6月)とともに、産業と観光の都市・徳山に移転した。

月販、協業センターを含むと64名の大所帯で、蜘蛛の糸のように網をひろげ、日夜ががんばっている。

本社は東部と北部、下関営業所は下関を中心に西部を担当している。新社屋は二階建て。一階は事務所、二階が独身寮。国道二号線に面して、屋上にでっかいネオンがシャープのイメージアップにつとめている。



広島支部
越智光夫さん
(会員番号 1621)

あの頃は

40年前の事を・・・と言われて中々思い浮かんで来ない。当時シャープはシェア拡大を目指して防府から2階建本社ビルの徳山市に拠点を移し山口県2拠点化で、全域のカバー。きめ細かな販促を計りながら徐々に売り上げが上向いていた頃に稲森学さんが専務として赴任して来られました。

稲森さんはあの巨体と大声で社員に行け行けドンドンと大太鼓を叩いて、売り上げの増進とシェアUPを成し遂げたのです。

怒られる時には頭上から雷の轟音の如く喚いていましたが後に残らない。冷静になると緻密で先を考えた社員教育と統率力のあるワンマン経営者でした。家庭でもワンマン亭主で奥さんを困らせていたとか・・・。

私も、当時70作戦時に電化センター2店を出店して販売予算に貢献した記憶があります。

私の今日この頃

今は当時の山口トリオの松田正博、兼田守正、村井正和さんの3人と3年毎にOB会を開催。1回目29名(湯田)2回目58名(下松)と多くの参加者が有りました。

勿論、稲森さんを初め当時の懐かしい多くの方々への参加もありました。

今の生活は“健康が一番”と次の事をしています

- 1.家庭菜園・・・50坪で少量多品種栽培し、夏・冬共に野菜は殆ど買わない。
- 2.魚釣り・・・波戸か岩場の小物釣り、鱒、メバル、サヨリ等々。
- 3.登山・・・柳井市の山の会に入会して年1回は花の100名山に3～4泊で登山。月1回は近県の花の名山に行っています。6年前長野県白馬岳(2932m)の頂上で堺市の真行正さんにばったりとお会いした事も有りました。

他に老化対策として地元の日本ハワイ移民資料館に月8日間位出勤しています。

この様な生活サイクルですが、山、海などに行く為に健康で自前の歩行が重要なので夕方には、夫婦でウォーキング4km(8000歩)を基本にし、健康で自前歩行が出来るよう努めています。

結果今は、現役の頃から12kg減量の59kgの体重とメタボから脱却をして元気な田舎暮らしを毎日楽しんでます。



山の会メンバーと尾瀬ウォーク

あるこう会

あるこう会は17年目を迎えて

リーダー 東 秀次 (2152)

あるこう会発足は平成8年11月、今年で17年を迎えました。平成24年12月にあるこう会発足15周年記念行事として写真アルバム総集編に纏めたCDと“まな板”の記念品を作成し会員に配布した。現在97名の会員で月2回の例会を実施している。今年は広島支部20周年記念として、東広島神社めぐり20kmウォーキングを計画し、記念に神社めぐり通行手形スタンプラリーを計画します。

下記、あるこう会発足の経緯と初代リーダーの苦労話や思い出の写真を見て振り返り度いと思います。広島支部発足の平成5年7月には同好会は存在せず、唯一現役時代の同じ趣味仲間が三々五々に集まって、ゴルフや囲碁将棋をやって居た。本部の“歩こう会”を役員会で紹介し、支部にも“あるこう会”の発足を提案し同好会発足の承認を得た。後に、本部の歩こう会ではどんな具合に活動されているのか、いつか機会があれば一度勉強させて貰う為に参加のチャンスを探り、約1年後に社友会本部歩こう会に参加してウォーキング体験した。しかし、歩く事は簡単で有るが故に継続する事がなかなか難しい、ましてや独りでは直ぐに挫折してしまうと言う声を巷では良く耳にした。同志が集まって歩くことを相談して賛同を得てメンバーを募った。然し、運動に関し全く無知無能で有った為、当時盛んに開催されていたウォーキング講習会に出来る限り多く参加し、あるこう会発足の為に少しでも己の知識を高めようと努力した。その甲斐があり提案から半年後やっと“あるこう会”の発足が叶った。

初回の活動は平成8年11月23日に参加会員12名（男5名女7名）で鏡山公園を歩いた。当初は、体調、体力、脚力が全く判らない状態であったが数回実施した結果、1時間位の歩きには十分に耐えられる事が判り、順次鏡山公園を出てブルーバールから広島大学通り県道33号交差点の折返し4kmを歩いた。発足後1年が経過する頃には脚力もアップしたので、例会は月1回から2回に増やし現在に至っている。平成14年には会員数も20名に成り、広島県内の名所、旧跡、イベントにも参加、脚力も向上して賑やかに盛り上がった“あるこう会”に成長した。平成17年には、あるこう会のホームページを開設。平成22年の会員数は60名に増えた。平成21年から乗用車で現地への移動を止めて貸切バスでの移動にした。これにより、スタートとゴールの場所が変られるのでウォーキングコース設定が容易で変化に富んだコース選びが出来る様に成った。一泊二日のウォーキングを毎年1回実施。各自の体力に合わせてウルトラコース(20km)、しっかりコース(10km)、ゆったりコース(5km)、エンジョイコース(3km)に分かれて実施。又、毎年山歩会と共同で、夏山登山と観光ウォーキング実施。

“あるこう会”は、歩く楽しみや健康維持と親睦を図ることを目的に、元気よく常に好奇心を旺盛にして挑戦。これからも積極的に人生を楽しみ、百歳ウォーキングを目指してチャレンジしましょう。

懐かしの三原保養所前で
平成9年

小倉神社 平成12年



山陽道餓坂を雪中行進 平成15年



あるこう会15周年記念品



本部歩こう会と飛鳥路に行く 平成18年



今は懐かし広島市民球場前 平成21年

1. 囲碁・将棋同好会の創設

平成9年、木船久さん、浅島治さんが発起人と成り、囲碁と将棋の愛好者4名で「囲碁・将棋同好会」を発足しました。動機は、“大いに働き、大いに遊び、良い趣味を楽しむ”ことを“人生の生き甲斐”とし、その中で“趣味は人生の息抜き”でありたいとして「囲碁・将棋同好会」を立ち上げました。発足時は、木船さんと浅島さんの社友会の当番の日に社友会室で、その他の日は木船さんの自宅で囲碁・将棋を楽しんでいました。平成13年度には会員数は6名に成りましたが事情が有って同好会は一旦休会することに成りました。

2. 囲碁・将棋同好会の再開

平成14年11月、休会中の一部の会員から再開の要望が出て、山口春香さんが同好会リーダーを引き継ぎ、新規会員を加えた7名で同好会を再スタートすることに成りました。「囲碁・将棋同好会」の再開を機に「囲碁・将棋同好会会則」を起案・制定し、活動方針を明確にしました。第二の人生における“頭脳の活性化と同好会会員相互の親睦を図り”、“生涯現役を目指そう”を合言葉にしました。毎月第一月曜日を定例活動日として社友会室で囲碁・将棋の対局を楽しむことにしました。

3. 囲碁・将棋同好会の発展

平成14年度の同好会の再開から、毎年徐々に会員数が増加し、平成21年度には登録会員数が17名に成りました。新規の会員は囲碁愛好者が多く、創設当初は将棋の愛好者が主体であった当同好会が、この頃には囲碁が主体と成りました。当同好会の再スタートから7年間が経過し、毎月の定例会も順調に活動出来るようになり、山口春香さんから私(杉山健)にリーダーの交代の要請が有りました。

4. 同好会名を「囲碁同好会」に改名

平成22年6月、山口春香さんに代わって私が「囲碁・将棋同好会」のリーダーを担当することに成りました。私は、平成15年6月に当同好会に入会しましたが、この頃から定例会は囲碁が主体で将棋の対

局はほとんど見かけませんでした。そこで、リーダーを引き受けて三つのことを実践しようと考え同好会のメンバーに図ることにしました。一つは、同好会名を「囲碁同好会」とする(平成24年度より実施)。二つ目は、棋力の向上を計るために、各自の段・級位を決めて対局する(平成23年度より実施)。三つ目は、年に一度は大会を開催し、会員の棋力の向上と親睦を図る(平成24年7月2日に「第一回囲碁大会」開催済み)。また、これまで10時から12時までであった月例会の開催時間を、平成24年度からは10時から15時までとし対局時間を増やすことにしました。その結果、23年度の総対局数が60局であったのに対し、24年度は151局(大会の対局を含む)と2.5倍に増えました。

5. 平成25年度は、前年迄の対戦成績を反映して各自の段・級位を改定し、新たなにスタートしました。

★平成25年度の活動予定

1) 定例月例会

開催場所：社友会室奥のレクチャールーム

開催時間：10時から15時まで

開催日：4月 1日(月)、 5月13日(月)、
6月 3日(月)、 8月 5日(月)、
9月 2日(月)、 10月 7日(月)、
11月11日(月)、 12月 2日(月)、
1月 6日(月)、 2月 3日(月)、
3月 3日(月)、

2) 第2回囲碁大会(社友会20周年記念行事)

開催日時：平成25年7月1日(月)9時から17時迄

開催場所：八本松「下組集会所」ホール又は和室

参加資格：社友会「囲碁同好会会員」

社友会会員有志

参加費：2000円(予定) 昼食代、景品等に充当



第一回囲碁大会に参加された皆さん(平成24年)



第一回囲碁大会、静かだが熱い対局風景(平成24年)

釣り

釣りは楽しい思い出がいっぱい！

リーダー 川田 正勝 (1732)

私が釣り同好会のリーダーを引き受けたのは社友会の役員をしていた時です。私も釣りが好きでしたから、当時、新田さんがリーダーをされていた釣り同好会に参加して、主に船での釣りをしていました。新田さんの好きな船頭さんは倉橋の方で、朝の早くからよくアジを釣りに行きました。今、思いますと山口県の大島近くに有ります桂島の近くにサビキ釣によく行きました。12本もの針を付けサビキ釣りの仕掛けの長さが7メートル近くも有りました。アジが釣れだすと同時に5匹も7匹も釣れるので取り込むのが大変でした。船頭が魚は逃がすな！、糸はもつれさすな！、と大きな声で怒鳴っていました。しかし、隣りの人のサビキと絡むと大変で、手に針が刺さり痛かったこと等を思い出します。車角さんがサビキの絡みを上手く直してくれたこと等を懐かしく思い出します。

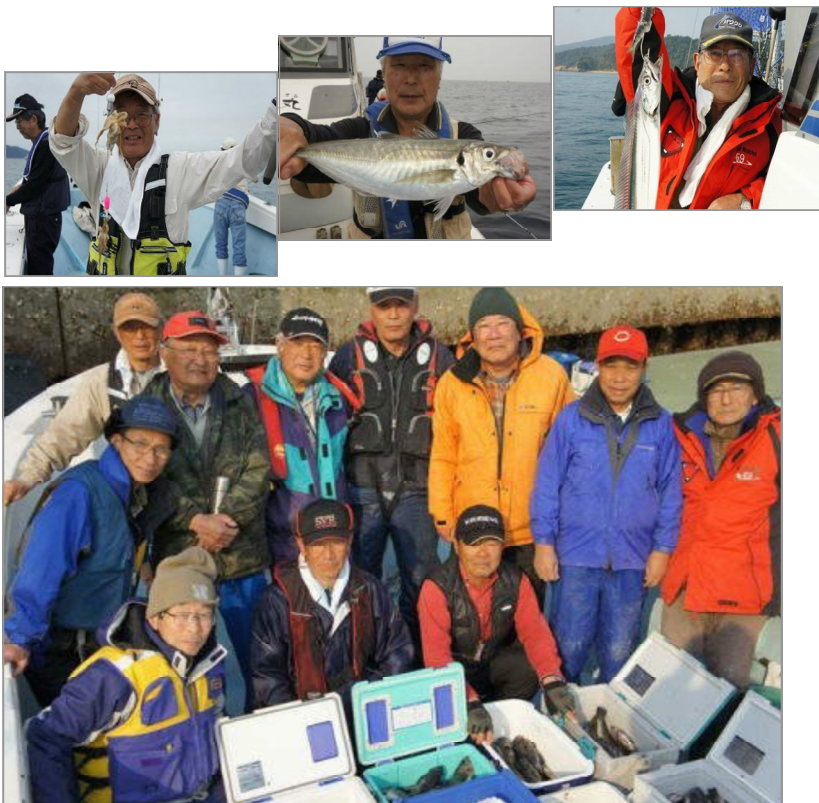
新田さんからリーダーを引き継いでからは主に鹿島へ行きました。船頭は小平さんという方で、良い方でしたが、奥さんは口の悪い人でよく怒られていました。私もあんなに怒らなくてもと思いましたが、船頭さんは気にしていない様でした。私たちが予約をして行く時は、前の日には夜船を出して網引きをしてくれていました。奥さんと二人で朝の3時頃から私たちの為に魚を取ってくれていたのです。今思えば、イカ・海老・カレイ・アナゴ・鱧などの高級魚ばかりでした。みんなが釣った魚よりお土産で戴いた魚の方が多かったようです。

港からの帰りは3時間程かかり、途中の音戸の瀬戸のレストランで美味しいコーヒーを飲んだりした。今はその店は有りませんが、懐かしく良い思い出です。

今は、晴光丸という私の息子の友達（本職は車屋さん）に頼んでいます。私達の年齢に合わせてくれる唯一の釣船です。安芸津港から出ていますが、春はメバル、夏はアジ、秋はいい蛸、冬は太刀魚、と四季に合わせて釣りを楽しんでいます。今まではメバルで今年は半夜の釣果が良かったですが、今からはアジ釣ります。釣りは楽しいですよ、皆さんも一度釣りをしてみませんか。



晴光丸で冬の寒さにも負けず



勢ぞろいの釣師たち、今日も大漁だ！



太刀魚釣り、ドラゴン級も混じり大漁だ！

支部結成20周年を迎えて

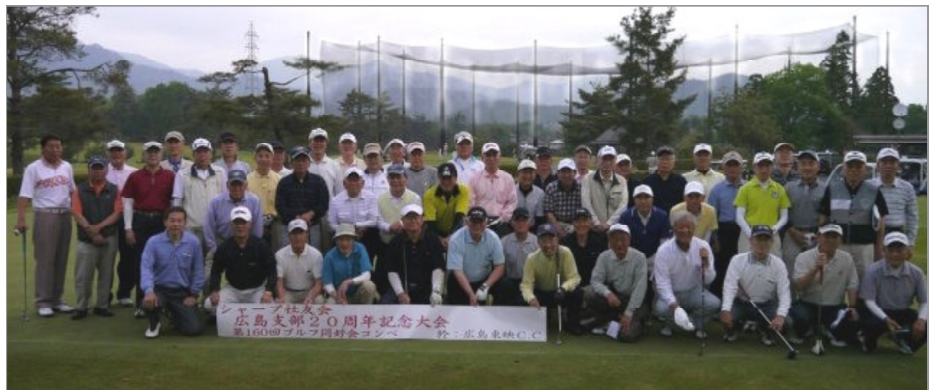
リーダー 末沢 公彦 (3779)

5月16日東映カントリークラブにて、“シャープ社友会広島支部結成20周年大会”を盛大に開催することができました。丁度ゴルフ同好会コンペ160回の節目の大会と重なり、参加者も52名の多人数で、健康でPLAY出来ることをお互いに感謝しながら、日ごろの成果を発揮し競い合いました。ここに支部として20周年を迎えることができたことお祝い申し上げます。

大会は間際に、急に欠席者が多く出て、幹事としては多少混乱しましたが、成績そのものは、天候とコースコンディションに恵まれた事もあり、松見さんが72のパープレイという好スコアで見事優勝されました。当同好会は、練習量は一番と自負する藤原さんがハンディ頭でベスグロの回数も最多ですが、今回の大会では、松見さんが“藤原さんの独走許すまじ”の意地を示され、参加者の“今度は私が優勝するぞ!”という気持ちを奮起させた事は意義が大きいと思います。こうして皆さんが、それぞれの方針で体力と技術を磨かれ、全体のレベルが向上すればと期待しています。栄えある優勝者は、松見弘さん、準優勝者は、猪飼雅澄さん、第3位は、伊藤泰三さんが獲得されました。今大会は賞品や副賞も多く全員の方が楽しまれたものと考えます(私自身はスコア的には不完全燃焼ですが・・・)又、今年から昨年度に年間10回参加された方を皆勤賞として表彰いたしました。少しでも多くの方の参加を望んで計画企画しました。写真は今大会の記念写真で多数参加載きました。

我々現幹事は昨年5月の150回大会の後に幹事を引き継ぎ、やっと1年となります。会員の皆様のご協力のおかげで、試行錯誤や苦勞しながらも何とか運営に慣れつつあります。16年前、嵐さん、出口さんの2人の先輩のご努力により、会員の健康と親睦そしてゴルフ技術の研鑽を目的としてゴルフ仲間を集められ、同好会として長い間努力されたのが、ここまで継続拡大し、現在会員数112名(休会者含む)の大所帯となりました。又、さらに毎年新規メンバーの加入を迎えております。今後は創立の目的を引き継ぎながらさらなる発展のため、副リーダ渡邊さん、HC等運営委員有田さん、経理関係前田さんらと協力し、会員の皆さんの意見も聞きながら、会員の皆さんが楽しみながら技術の向上が図れるように、会の運営をお世話させて頂きま。そして1人でも多くの新規入会の方を、お待ちしております。

いつまでも若く前向きな姿勢で、
共にPLAYを楽しみましょう。



第160回、広島支部結成20周年の記念コンペ (2013. 5. 16)

★直近のコンペの成績と優勝者の一言

◎第158回、3月14日 賀茂CC

優勝者 藤原克美 : 前回に続き優勝出来たのはこの冬小雪舞う気温の低い日でもほぼ毎日練習を続けて来た結果だと思います。ハンディが段々減り今後入賞は難しくなりますがまだまだ頑張ります。



◎第159回、4月11日、宮島志和CC

優勝者 吉田寛 : 長年望んだゴールドティー?!。白ティーより短いので余分な力が入らず素晴らしティーショットの連続でした。そして、寄せも思う通りにグリーンオン。これらが重なり優勝できました。これからも練習して再度優勝を目指したいと思います。



◎第160回、20周年記念コンペ、5月16日、東映CC

優勝者 松見弘 : 支部設立20周年記念行事のゴルフ大会にて久しぶりに優勝出来て喜んでおります。又、グロス72のパープレイ出来たことも。勝因は飛距離を伸ばすあるいは維持する日々の取り組みの結果ではと思っています。これからも長くゴルフがプレー出来るように体のケアに努めたい。「継続は力(正直)なり」か。



平成24年度第10戦 平成25年度第1から2戦の成績 (NETスコア)								
第158回コンペ(18H)			第159回コンペ(18H)			第160回コンペ(18H)		
(3月14日 賀茂CC)			(4月11日 宮島志和CC)			(5月16日 安芸CC)		
順位	参加者	Par	順位	参加者	Per	順位	参加者	Par
1	藤原克美	2.8	1	吉田 寛	-2.8	1	松見 弘	-7
2	末沢公彦	4.4	2	渡邊大輔	-1	2	猪飼雅澄	-1.1
3	渡邊大輔	4.4	3	有田守夫	-0.8	3	伊藤泰三	-0.2
NP	OUT / IN		NP	OUT / IN		NP	OUT / IN	
	藤原(克) / 奥村(昌)			藤原(克) / 松本			出口 / 高見	
	伊野部 / 吉田(寛)			有田 / 村上			桂 / 沖田	
	松尾 / 該当なし			伊藤 / 佐々木			吉田(寛) / 松見	
	松尾 / 松本		杉山 / 亀田		田畑 / 方山			

ボウリング

ボウリング同好会の歩み

サブリーダー 牛田 晴雄 (1756)

【同好会創設】

1996年(平成8年)11月5日、ボウリング同好会設立。

【同好会会則制定】会則は1996年11月6日より施行。

会則の項目：目的、会員資格、リーダー、リーダーの選出、任期、運営、会費、入会・退会)

【定例会と大会の運営】

定例会活動日は毎月第1日曜日、午後2時開始とし、開催場所は賀茂ボールを本拠地とした。

その他、1・5・9月の年3回は、会員以外(家族・友人・知人)でも参加できるボウリング大会を計画し実施。

【同好会発足の動機・背景】 社友会会員の健康維持を目的に楽しく活動できる運動として、家族・友人・知人含めてプレー可能なボウリングとし、会員で興味あるメンバーを募った。(初代リーダーは)ボウリング同好会 推進事務局 吉岡秀卓さんでスタートした。

【1997に開催の 第1回ボウリング大会成績紹介】

開催年月	優勝	準優勝	3位	4位	5位
1997,01,26	山内 孝雄	山田 順	若林 繁次	川田 芙美子	小幡 友幸

【過去の大会の優勝者と開催日紹介】

第5回大会 1998.05.31 山内孝雄	第10回大会 2000.01.22 車角 裕規	第15回大会 2002.09.23 車角 裕規	第20回大会 2003.05.17 相馬 實	第25回大会 2005.01.29 喜田 栄禧	第30回大会 2006.04.23 坂田 広海
第35回大会 2007.07.14 村上 孝一	第40回大会 2008.09.13 和田 清子	第45回大会 2009.12.12 勝山 敏治	第50回大会 2011.03.12 村上 ひとみ	第55回大会 2012.06.09 牛田 晴雄	第60回大会 2013.09 計画中

【2013年4月現在の同好会現状紹介】

- 1) 年間活動計画 : 月例会8回・大会4回 計12回
- 2) 開催日時 : 毎月第2金曜日、午前10時開始
- 3) 同好会会員数 : 合計46名(社友会会員 30名・紅葉会会員 5名・招待会員(家族) 11名)
- 4) 同好会幹事 : 推進リーダー 細井博文(第2代)
サブリーダー 牛田晴雄・東郷靖彦・小森山光朗・川田芙美子

【同好会の目的】

家族参加型の室内スポーツ『ボウリング』は天候に左右されることなく、活動実行できる。又、足腰など下半身を鍛えられる全身運動で、日常生活面で転倒防止と健康維持を支える。



第45回大会 2009年12月
準優勝 優勝 第三位
東郷さん 勝山さん 出口さん



第50回大会 2011年3月
準優勝 優勝 第三位
井出さん 村上さん 藤田さん



第55回大会 2012年6月
準優勝 優勝 第三位
藤田さん 牛田さん 川股さん

平成11年5月21日に広島支部の第6回支部総会が開かれた。この段階で私が広報担当の幹事として、以降の役割を求められることが決まっていた状況でもあった。即ち、広報誌「ひびき」の発行は、パソコンの介在なくして、編集作業やプリントの効率化など行えないとの思いから、パソコン同好会発足を周知し、参加への勧誘と浸透を目論んでいたのだが、結果はそれほど簡単ではなかった。

総会の審議を含め、進行を無視して個別に並みいる諸先輩に、同好会入会の勧誘を図り併せ「会報ひびき」の次号には会員募集中の広告を掲載して、初例会を待った。推進リーダーの選任を図ったが、発案者が担当するのが当然として一蹴されてしまった。以来14年、未だ続けている。

発足当時と現在とでの会員数は、ほとんど変化なく例年3月における会員数は、12～13名に留まっている。当初から、同好会に会則不要と会員拘束条件無しが、唯一のルールだ。しかし、実際には文章化されないまま運用上のルール化された条件は存在する。

当初の例会は、パソコンの操作やアプリケーションの使い方等の、どのように動かすのかが主テーマになった。かつて、電話のダイヤル回線で接続されたメールの送受信やインターネットへの接続も、今や数秒レベルの高速処理が可能になった。パソコン自体の高速化や多様化多機能化も加わり、犯罪の被害防止対策も欠かせない時代が変わってきた。

又、移動通信手段として登場した携帯電話機が、パソコンを凌駕する機能を備えて、パソコンの将来を予見しうる状況もある。

時代の変遷として、「消長」をキーワードにした場合、パソコンもその対象になる可能性を否定できない。しかし、性能や機能に特化すれば、通常の生活・生産・営業・芸術・文化などそれぞれの分野で、まだまだ有効な文明の利器にかわりない。

「ウインドウズ8」という名前の、オペレーションシステムは、マイクロソフト社が開発したパソコンを作動させる基本プログラムなのだが、初代とされる「ウインドウズ95」から8代目の意味になる。その8代目に至る過程で、パソコンで可能な作業は数え切れないほどの範囲と種別に拡大した。

このような状況によって、同好会のメンバーでもパソコンへの関心事項が、一極集中とならず分散化を強めている。

パソコンの重要な機能の一つに、各種の情報やデータを分類・保存することがある。ところが、如何なる容器も能力には限界があり、無制限ではない。同時に、パソコン自体は電力で動作する機械でもあり、いずれは保存した内容が取り出せない状況に至る可能性がある。そのため、ビジネスとして登場した「クラウド」なるインターネット上の保管庫が人気を集めている。これから、パソコンを始めたい方々は何をパソコンに求めるのかを、まず選択することから始めたい。

例えば、パソコンの講座を受講しようとして、パソコンを習いたい、と申告してはならない。独学と執念でパソコンをマスターしようとするなら、可能な限り最も安価なセットを購入すべきだ。なぜなら、数ヶ月を超えない段階で動作不能の事態を招く恐れがある。

10年を超えるパソコン歴のある方々なら、理解不能な状態で機能不全に至った愛機に苦慮した体験を、お持ちのハズだ。とは申し上げるが、これも経験の範囲であって、だから面白いとも思う。論理やシステムを理解していなくても、パソコンは動かすことが可能だ。目的の作業もなんとか消化できる。



2012年のある日の活動風景



写真上：
支部ホームページ開設準備の活動風景
2006年1月開設に向けて急ピッチで作業中

グラウンドゴルフ

環境変化を乗り越えて

リーダー 水谷 正弘 (2873)

グラウンドゴルフ同好会は支部結成に尽力された諸先輩の発意で、平成13年に7番目の同好会として会員7名で発足しました。発足の趣旨は定年後、家で運動不足気味に成っては体調を崩す。そうかと言っていきなり過激な運動をしても体を壊す。それでは、と言うことで軽い動きで出来る運動として、当時流行り始めたグラウンドゴルフを、会社のご好意で第三工場のグラウンドを使用させて頂けたので可能になりスタートしました。当時はゲートボールが大流行していましたが、個人プレーではないので自由な参加が難しい面がありました。当時、Yさん、Iさん、Hさん達は地元の同好会にも属され、他の事も忙しくされてたので、同好会代表に河上さんが就かれました。

発足当時は用具を揃えたり、ルールを覚えたり等で解らない事も多かった様です。用具を収納する物置も安く手に入れて、会員で組み立てた物を現在も使っています。又、夏の暑さや冬の寒さ対策の為に体育館でプレイする為に室内用用具も揃え活動を続けて来ました。しかし、室内用のボールは転がり方がグラウンドとは大きく異なり、勝手が違うので室内でのプレイ回数は減っていきました。

競技は、50m、30m、20m、15m等の先にある直径30cmのゴールポストに1打で入れるのは、グラウンドの状態にも影響されなかなか難しい事ですが、繰り返し練習することにより上達してきています。1ラウンド8ホールを24打で回ればパーとなります。

先輩方がしっかりと築かれてきた同好会を、これまで続けられてきた事は大変喜ばしいことで、会員数も少しずつ増えてきました。高齢化に因る腰痛、関節の痛み等により退会者が居られ、現役時代のゴルフ経験者の入会や、現役時代からそのまま定年後も続けられる人もいますが、会員数が伸び悩んでいるのが現状です。平成20年に水谷がリーダーを引継ぎ現在に至っています。

時々、グラウンドの土コースでなく異なる所でのプレーをするという事で、芝生のコースでプレーする為にパークゴルフに出かけたりします。グラウンドと異なるボールの転がりを経験したり、スコアをつける事も経験して、グラウンドゴルフの楽しさも覚えました。

眼にも爽やかな高原の芝生コース



又、たまには違うコースでプレイしようと、野呂山ロッジへ車に分乗して出かけてグラウンドゴルフのコンペを行い、併せて食事会を行います。

平成23年には、八本松地区の老人会と合同グラウンドゴルフ大会への参加案内で初参加。

初めて、160人程の多人数や80歳の年齢の方も居られて驚くとともに、皆さんの見事な腕にびっくり仰天しました。第3回目の大会参加時には我同好会の南本さんが優勝をされ、社友会の年賀会会場に優勝トロフィを飾らせて頂きました。

最近では月1回スコアをつけてラウンドして、記録を確認し腕を上げるよう励んでいます。

現在の会員数は16名ですが、体調不良の方もおり、普段は8~10名程が活動しています。

しかしながら、第三工場のグラウンドが近くの道路工事の関係で平成24年10月から使用出来なくなり活動休止に追い込まれています。体育館も閉館の為、新年度は他の場所を借りてでも活動を再開しようと検討しています。

本年秋には20周年記念行事として野呂山まで出かけて記念のコンペを行い、懇親を深めると共に、腕前を上げられる様に頑張ります。



2005年夏 暑さにも負けず、皆若かった！



2009年夏 新メンバーも加わり、爽やかな熱戦の後

ダンススポーツ

練習場を体育館から変え、更に充実

リーダー 新林 達人 (3470)

ダンススポーツ同好会の立ち上げは、平成16年3月3日に同好会認定申請兼通知書を提出申請し、平成16年4月1日付けで、出口昌孝広島支部長より承認をいただいた。発足式の準備を行い、平成16年4月15日にダンススポーツ同好会として正式に発足した。発足当時は会員の募集に苦労した。同好会活動に興味をもってもらう働きかけを行い会員を募った。活動の初期では、ステップの反復練習に加え、指導講師への依頼等、未知の世界を探るような毎日で、推進リーダー江頭敏晴氏を筆頭に大変苦労されました。発足時に、ダンススポーツ同好会の目的を定め会員11名で活動開始した。

ダンススポーツ同好会の目的

本会は社交ダンスを通じて、会員の日頃の健康増進と親睦を図ることを目的とする。

同好会発足時のメンバー

リーダー	社友会	紅葉会	
江頭 敏晴	檜原 繁彦	山影 敦子	田仲 節子
	片山 朗	原田 邦子	大畑 ゆり子
	金子 占領	岡田 淑子	
	佐々木 和治	三宅 艶子	

同好会メンバーの会員も増え、平成19年には講師、招待会員を含め18名となり練習にも熱が入りました。この頃に、江頭リーダーの元で、瀬野福祉会館で開催の懇親交流ダンス会で、講師の指導を受け練習した成果を発表する為に猛練習を行い、ワルツやタンゴを2組や4組に別れ、ぎこちないステップながらも一生懸命練習に頑張りました。

集合写真は瀬野福祉会館での晴れ姿です。女性はドレスで着飾って楽しさや思い出を作りました。軽い食事や飲み物を取りながら談笑し、日頃のレッスンの成果を披露することが出来ました。交流会で初めてペアを組んだ時の男性は大変で、相手にステップが伝わらず途中で止まることもあり、最初のころは散々でした。しかし、少し慣れてくると、リードも良くなり講師の教えを受けたステップで踊ることもでき、曲が短く感じる程になり自信を持つことができました。

私たちの練習場所は体育館であった為に、冬季は寒く、夏季は暑さと蚊を相手に悩まされ、講師の先生には申し訳なくも我慢して頂きながらのレッスンでした。厳しい暑さや寒さの為に練習を休止することもあり、二代目の山根リーダー中心に新たな場所を探しはじめ、ダンス専門の練習場所“ボールルーム八本松”が見つかり、今はこの会場で練習をしています。会場は冷暖房完備、二面に鏡が設置してあり、経営者の川添先生が一人一人を相手にレッスンされ、姿勢や歩幅等を詳しく指導頂き感謝をしています。

当会場は、プロの先生方も利用されており、時々見学ができて勉強に成り、楽しく練習をしています。

同好会は月四回の活動で、木曜日午後四時から五時半まで練習しています。練習会場の音響もすばらしく、ダンスの種目は、モダンはワルツ、タンゴ、ブルース、ラテンはジルバ、チャチャ、ルンバの六種類を習っています。

来年はダンススポーツ同好会が10周年を迎えるので、記念大会を春にボールルーム八本松でダンスパーティーを開催する準備と、レベルを上げるため頑張っています。

写真右：
懇親交流ダンス会での晴れ姿
(瀬野福祉会館にて)



写真左：
冷暖房完備の練習場でステップも軽く
(ボールルーム八本松にて)



絵手紙

同好会の生い立ち(苦勞の甲斐あり、入選する事も出来ました)

リーダー 川田 正勝 (1732)

平成16年、当時私は社友会の同好会幹事を担当していました。その時期は広島支部は六つ同好会しかなかったもので、他支部に負けないう10の同好会を作ろうと考えていました。

当時、活躍していた同好会の殆どが運動系で、紅葉会の人に聞いてみると、水彩画・油絵・日本画・絵手紙・カラオケ等の同好会があれば参加したいとの希望がありました。それぞれ同好会として活動するには先生というか指導者が必要でした。そのような状況で、当時、私が参加していた熟年大学の絵手紙講座の講師がシャープにも勤務していた迫谷さんで、事情を説明して同好会の講師をお願いしたところ快く引き受けて下さいました。それで、紅葉会と社友会の会員で10人のメンバーが集まり、絵手紙同好会を発足させました。まずは、絵手紙作成に必要な絵の具・筆・用紙等の道具を揃える事から始まり、絵手紙作成の基礎知識を3カ月で習得しました。迫谷先生も親切丁寧に応援していただきながら、絵手紙は、『下手でいい、下手がいい』をモットーに頑張りました。

今思いますと、僅かなお礼で今日までの9年間もよく面倒をみて頂いたと、心から感謝しています。

現在のメンバーは13名ですが、毎月第4土曜日に社友

会の部屋で勉強をしています。迫谷先生には1年間の月別にテーマを設定して頂いていますので、それに合わせて描く物の準備をします。

秋には熊野に有る“筆の里工房”主催の絵手紙の応募展示会では、私たちが応募した作品が展示されていますので勉強会をかねて展示作品を観に行きます。

この展示会は、毎年開催される全国規模の絵手紙作品の応募展示会で、“筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞”に同好会からも応募し、先生を筆頭に3~4人の作品が入選しています。このことは私たちの作品が世間の作品に比べても優秀であるとの証だと思えますし励みにしています。

今後も、絵手紙は『下手でいい、下手がいい』をモットーに日々頑張っていこうと思います。

絵手紙に興味の有る方は是非一度観に来てください。

私たちと一緒に絵手紙づくりを楽しみましょう。



絵手紙勉強中ですが腕は確かなメンバー



吉田さん 作



迫谷先生 作



川田さん 作



稲生さん 作



丸山さん 作

シャープ社友会広島支部創立20周年、
おめでとうございます。

私ども写そう会も2004年11月1日、当時の社友会役員の方々並びに写真を愛する有志のご協力を得て発足し、今年で9年目となります。当同好会は会員間の親睦、写真を通して趣味・人生を楽しむことを原点として、気軽に写真を楽しみながら写真技量の向上に努め、活動の中で各自の写真ノウハウ等の情報を提供・共有することを目的としています。

*** 写そう会発足から今日に至る歩み**

- ・平成16年(2004年) 11月、発足
- ・平成17年(2005年) 1月、作品展の開催：社友会賀詞交換会の場を利用して、初めての作品展を開催しました。以降、賀詞交換会や定期総会の場を利用して、毎年作品展を開催しています。
- ・平成17年(2005年) 2月、他同好会とのコラボレーション：他の同好会との活動交流促進の一環として、「あるこう会」との合同例会企画「古都尾道」での撮影会を開催しました。
- ・平成17年(2005年) 9月、地域との交流：東広島市内の写真クラブ8団体で構成する東広島合同写真展にシャープOBとして初めて参加。以降 今日に至るまで毎年参加しています。
- ・平成18年(2006年) 1月、常設作品展展示場の設置：「写そう会」の活動内容を広く知って頂くことを目的に、事業本部にお願いしラポール広島食堂内に会員の作品を常設展示するギャラリーを設けました。

- ・平成18年(2009年) 1月、ホームページの開設：支部のHP開設に合わせて写そう会もHPを開設しました。
- ・平成18年(2006年) 4月、シャープ同好会初の試みとして「写真と絵手紙合同作品展」をフジグラン西条駅前店で開催し、多数の方々に鑑賞頂きました。
- ・平成19年(2007年) 7月、前年に続き「写真と絵手紙合同作品展」を東広島市民ギャラリーで開催。
- ・平成23年(2011年) 12月、東広島市美展に全入選数28品の内7作品を7名の会員で入選する快挙。
- ・平成24年(2012年)、「写そう会ギャラリー」をHPに新設して、社友会会員を対象に作品や活動状況を公開。

*** 各種コンクールに出展**

東広島市美展をはじめメジャーな広島県美展、二科展や地域に密着した写真コンクール等々、各会員が積極的に出展し、入選や各賞を獲得しています。今回は支部20周年記念特集でもあり、入賞作品の中から最近の広島県美展入選作を下段にご紹介します。



2008年度入選作品 8.6 祈り (辻 重樹)



現在活動中のメンバー



2012年度入選作品 細雪 (谷水 毅)



2011年度入選作品 陽だまりの憩 (車角 裕規)



2010年度入選作品 祈りの焰火 (車角 裕規)

*** 20周年記念行事の実施計画**

「写そう会」は2004年11月2日に発足、来年(2014年)11月で10周年を迎えます。これを記念し、広島支部結成20周年記念行事の一環として「写そう会10周年記念写真展」を開催する予定です。この写真展は日頃の活動成果を広く社友会会員の皆様や地域の皆様にご披露し、写真の世界を楽しんで戴くと共に、次の10年に向かって会員のモチベーションの高揚を図るべく開催するものです。

尚、開催時期は、当初計画は同好会発足10年目に当たる2014年11月の計画でしたが、広島支部20周年記念行事に連動させるべく、可能な限り前倒し実施すべく準備を進めております。

最後に、写そう会では撮影会に体験参加をして頂くことも歓迎しています。興味のある方はご連絡下さい。

平成あそび隊

【活動を顧みて】あそび・学び・楽しんでます

リーダー(隊長) 松岡 良明 (235)

平成あそび隊の結成のきっかけは、2004年5月に北広島町の温井ダムに仲間数人行けましたが、それが活動のスタートです。

- ・2006年9月には、福山ラジオ博物館の見学で、真空管ラジオで育った者は青年の頃の思い出と懐かしさで、しばし、感激のひとつでした。この年は、東広島天文台の見学、庄原市口和町の町おこしイベントの「もうもう祭」等を楽しみました。
- ・2007年度は、広島市内 江波山気象科学館・東広島市内の精米機サタケの見学をしました。
- ・2008年度になって、NHK広島放送局・愛媛県大三島にある 伯方の塩工場。呉の海上自衛隊護衛艦の見学・世羅高原農場「チュウリップ祭り」。大野町の「やまだ屋」もみじ饅頭製造の見学、付近の妹背の滝見物等充実した活動の年でした。
- ・2009年度は、「マリナーホップ」尾道「ふれあいの里」・島根県は、三瓶自然館「サヒメル」と小豆原の埋没林に行き、大昔に発生した、自然災害を初めて知りました。
- ・2010年度には、3月に砂谷牧場から湯来温泉・5月には、神石高原町の「やき肉」を堪能し「湯っ蔵さんわ」で体を解しました。広島市内でも、温泉「ほの湯」や プリンスホテルでの食事など、肩の凝らない活動に隊員も、満足の様子。

- ・2011年には、音戸の瀬戸・清盛塚・てつにくじら館など・島根県の有福温泉・浜田市のお魚会館を県物と買い物。
- ・2012年度は、大和町のお多福醸造、府中町の佐々木木工、ラジコンヘリ製造の(株)ヒロボーの見学、広島造幣局や河童えびせんのカルビー(株)の見学をしました。その他 国の無形文化材である、壬生の花田植や東城町で行われる「お通り」の行事も見物して来ました。

今までは、初めての所の見物・見学や参加で、興味と期待を胸に楽しんで来ました。特に工場見学では、申し込みは2週間前や参加人数は何名以上の制約がある等で、その制約を満たすのに苦労しました。このような苦労は有りましたが、今日に至るまでトラブルも無く活動出来たのは、参加者各位のご協力のお陰だと感謝しています。今後も、隊員の情報等での新規開拓や再度訪問してゆっくりと見る等の取り組みを行いたいと思います。



ふくやまラジオ博物館
2006年4月



精米機の(株)サタケ工場見学
2007年3月



NHK広島放送局 スタジオで
2008年1月



三瓶山で三瓶小豆原の埋没林
2009年6月



島根県有福温泉で湯上りに
2011年11月



ラジコンモデルの(株)ヒロボー
2012年9月

前リーダー山根氏が、広島地区営業OB5名と「ゆうゆう会、ウォーキングクラブ」(HWC)を結成。近郊の山を登る中、社友会広島支部・同好会「あるこう会」のウォークに参加。その後山登り好きの会員から、2ヶ月に1回の近郊の山野トレッキング、森林浴や花木観察、山頂展望を楽しみながら「健康と親睦」を図る同好会の相談があり、2007年度定期総会で「山歩会」創部報告をしました。2007年10月17日「絵下山登山」の初例会登山を実施、2011年3月までの4年間で18回の登山を完遂、延べ190名の参加を頂きました。発足当初「安全安心の登山」の為、下見登山の実施や登山経験者の同行ガイド依頼、花木開花時期とのタイミング調整や天候等で大変なご苦労いただきました。2011年度より新体制にて引き続き2年間で11回の例会を実施、延べ参加人数121名の登山を無事故にて完遂する事ができました。

現在登録会員が32名(社友会25名、紅葉会2名、招待会員5名)で構成しております。登山コースにより参加メンバーが変わり、ご夫婦や飛び入りの特別参加もあります。夏季シーズンには、有志による特別訓練や特番登山などを計画実施しております。特番ではJRバスで行く「あるこう会合同企画 日本アルプス登山」を実施しました、2011年8月に乗鞍岳(剣ヶ峰3026M)晴天の下で8名が登頂成功。2012年8月には、西穂高(独標2701m)に13名が登山を実施しました。今後も会員の健康促進と親睦を図り、素晴らしい自然との出会いを楽しみに登山例会を実施してまいります。

第1回からの活動の様子を、社友会広島支部の同好会ホームページ「山歩会ニュース」欄に詳細報告を写真も含めて掲載し公開中です。今後も随時更新しますので、是非ご閲覧をください。



全員揃って「絵下山展望広場」(568m)
第1回 2007年10月



上高地大正池で焼岳をバックに
第6回 2008年7月



石鏡山頂上小屋
第11回 2009年5月



恐羅漢山山頂 (1346m)
第14回 2009年11月



乗鞍剣ヶ峰山頂 (3026m)
第21回 2011年8月



西穂高口駅展望台 (2156m)
第27回 2012年8月

ものづくり

楽しんで日用品から芸術作品まで

リーダー 梅田 正明 (4008)

“ものづくり同好会”は、発足してから約5年になる。定年退職して5年数ヶ月となる私は、昔から木工を中心としたものづくりを趣味としており、退職1年半前に自宅に念願の工房を設けた・・・これをこの同好会の活動拠点としている。

退職し社友会に入会すると、同好会幹事さんから新しい同好会をつくるよう促され、リーダー、サブリーダー、事務局の三役体制の「ものづくり同好会」の創設を決断した。2008年5月に会員を募集したところ17名集まった。機械や刃物を使う作業の性格上、安全上からも場所の制約からも、大勢が一度に工作することを避けるため、火曜日グループと金曜日グループの2班に分け、それぞれ月2回、つまり第1火・金、第3火・金を例会日として、6月から活動を開始し現在に至っている。

現在会員数は、社友会19名、社友会配偶者1名、紅葉会2名、計22名で、例会のほか、親睦会や工場見学を時々行いながら、和気あいあいの運営をしている。会員は自分の趣味として精力的に創作活動を行い、日々活用する身の回り品等を主として創作している。

会員は徐々に技能が向上し、機能的な設計構造、上級の加工方法、美しい外観仕上げ、等をマスターしてきている。今後とも、安全第一で地道に活動を続けていきたいと思っている。

ところで、社友会20周年に際して、各同好会において記念行事を行うよう要望があり、会員間で検討した

結果、自然木(カイツカ丸太)の輪切りを台木とした独創的な時計をめいめいがつくることにした。

まず安定した品質確保のため、2点の治具の自作から始めた。1点目は、チェーンソーを正確に上下に動かす「輪切り治具」。2点目は輪切りした切断面を平面に削ったり、ムーブメント埋め込みのくぼみを加工する為の、トリマーをXY方向に自在に動かす「二次元テーブル」である。すでにこれらは製作完了した。

文字盤はめいめいが独自のデザインで作る。文字盤の前面には針保護のための透明アクリル板をつける。

ムーブメントは、電波時計かクォーツ時計か選択し、インターネットで購入する。

入手済みのカイツカ丸太は生木であり、急乾燥させると割れが生じるので、ゆっくりと乾燥させねばならない。従って、完成は今年度末を目途としている。



ラティス&鉢台
(奥村恭三)



ベビーチェア
(森田秀次)



2013年たけはら国際芸術祭出展
「ゆめ水車 一五五」
(腰本悦二先生出展、梅田正明制作協力)



製作活動の合間に四季を通じて食事会や餅つき大会等と活発に活動中

リーダー 吉房 幸治 (4430)

同好会を2010年5月結成し3年目に入りました。日本アマチュア無線連盟登録クラブ番号「25-4-76」、名称「シャープハムクラブ」で全社一体となって活動中です。20周年記念行事(野呂山)を9月3~4日に開催決定、在阪支部合同で、日ごろの無線交信、Netミーティングに加え、記念交流会を開催します。

〔主な活動内容〕

- アマチュア無線は、自宅からの電波が、数千から1万数千kmの距離を超え海外に届き、電波が人と人の新しい出会いをつくります。仲間同士や、世界中のアマチュア無線愛好家と多くの言語で話ができる素晴らしい趣味です。又、災害時の非常通信等の社会奉仕にも役立っています。チャレンジ精神でアマチュア無線連盟(JARL)行事や国内外の世界的なコンテストに参加、シャープハムクラブとして参加し、毎年上位入賞躍進中。
- JARL主催6大コンテストの登録クラブ対抗での年間総合順位は、専門クラブ順位(パナ他大手企業等参加)は、2010年:10位、2011年:9位、2012年:6位。全クラブ順位(大学、コンテストクラブ等含む)2012年:48位、2011年:32位、2012年:30位と毎年躍進。アマチュア無線のコンテストは24又は48時間内にどれだけ多くの局数×国、地域数×周波数帯と交信できるか得点を競う競技です。(例えば、1000局×120カ国×4周波帯=48万点の得点に成る)

- 地元東広島では酒祭りを始め国際的な、SEANET CONVENTION等にメンバーが参加し知名度も上昇中。会員相互の技術向上と親睦を図るため定期的に無線交信や交流会を開催しています。
 - 例会、野呂山頂上ミーティング:奇数月、第2土曜日13時から
 - 全社NETミーティング:毎週金曜日9時から7MHz
 - 全社SCNet:毎日曜日21時から、(全社:HF)、(大阪、広島):VHF、eQSO
- 社友会員を対象に免許有無に関係なく、無線に興味のある方の会員募集しています。初心者の方には、免許取得から無線設備、運用の指導をさせていただきます。
- リーダー:吉房 幸治
 - サブリーダー:濱川 康
 - 会計・事務局:東 秀次
 - ホームページ:又吉 昭夫
 - 入会金・会費:無料



写真右:
野呂山820m山頂の特大アンテナ
地上高27m、144MHz、
総数104エレメント



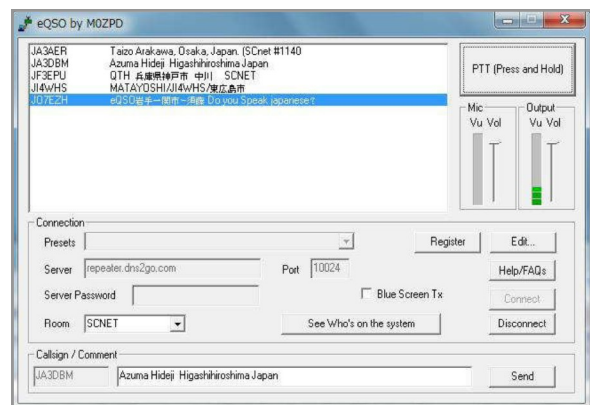
初回社友会本部との交流会



メンバーの開発した無線機器展示評価中



シャープ創業100周年のQSLカードを発行



eQSOはインターネットを利用PC同士で交信

テニス

目指せ！ウィンブルドン

リーダー 増田 隆治 (2960)

毎週水曜日の朝10時少し前、畑仕事を済ませた勢いそのまま増田リーダーが元気一杯にコートでの準備を始める。このスタイルが回を重ねるに従い徐々に定着してきました。

10時になると、軽くストレッチをした後、短いボレーの体ならしから練習が始まります。初めてテニスを始めた人も少しずつ練習パターンに慣れたのでしょうか、上手くいかないまでも何とか格好がつくようになってきました。

練習が半ばを過ぎたころ、自然に出来たランダムな組み合わせで、ミニゲームが始まります。練習では、当たり前前に出来ていたストロークが、びびってしまうからか、頭も体も思うように動かさず後悔しきりです。それでも、ゲームにのめり込んでしまうのは子供が遊びに夢中になるのと同じでしょうか！

最後に、これが出来ないとゲームが始まらないサーブ練習でその日を締めくくります。

これが発足から二ヶ月が経った現在の練習風景です。テニス歴数十年以上という超ベテランもいますが、数十年もテニスをやっていないか、未経験者が大半であり、**楽しみ・健康増進・コミュニケーション**などいろいろな思いを抱きながら、和気あいあいとやっております。

今年4月に結成したばかりの私どものテニス同好会は、未だ何のしがらみもない真っ白な画布のような同好会です。既存のパターンにとらわれず、これからつくりあげていく同好会です。

何かにチャレンジしてみたい方、テニスに関心のある方、健康のために運動を始めたい方、いっしょに色を塗ってみませんか！

表題の「目指せ！ウィンブルドン」は奥さんとウィンブルドン観戦を目指すある会員のキャッチフレーズを引用させて頂きました。



同好会結成時のメンバーです

広島支部結成20周年記念秋季親睦旅行について

本年は、広島支部結成20周年の記念すべき年であり、例年の親睦宿泊旅行では、出発時の集合場所が広島のために、各地区の皆さんは参加が難しかったのですが、今回は各地区最寄りの空港から出発して頂き、羽田空港に集合する初の試みで旅行を計画しました。

又、これも初めての試みで、2日目午後から3日目の羽田空港集合迄の約1日間を自由時間として、参加者が自由行動できるフリータイムの選択ができるコースも設定しました。

お断り：この秋季親睦旅行の参加募集は、2013年6月20日に締め切られました。



中国地区
四国地区
関西地区

東京集合

東京都観光協会



シャープ社友会広島支部
紅葉会・合同企画

日光観光協会HP

実施日 H25年11月19日(火)～21日

費用一泊のみ 45,000 二泊の場合 55,000 円

地上350mの東京スカイツリー展望デッキからの大パノラマ!



TOKYOskytree HP

日本三名湯のひとつ 鬼怒川温泉に一泊!



サンシャイン鬼怒川HP



浅草仲見附

東京都観光協会HP



華厳の滝

日光観光協会HP



いろは坂

日光観光協会HP



中禅寺湖

日光観光協会HP

中国・四国地区の皆さん是非参加してください!
鬼怒川温泉で会員の皆さんの親睦を深めましょう

1日目

各地空港出発(7:00～8:00頃)→羽田空港出発(10:15)→佐野SA休憩(11:30～11:45)→東北自動車道→日光宇都宮道路→日光東照宮で昼食・参拝(13:00～14:30)→華厳の滝散策(15:00～15:45)→中禅寺湖散策(16:00～16:30)→サンシャイン鬼怒川着(18:00)

(☆注意 天候の関係で変更もあります) 夕食(19:00～21:00) ホテル宴会場 懇親会

2日目

ホテル出発(8:00)→川口PA休憩(10:30～10:45)→東北自動車道→首都高速→東京スカイツリー見学&昼食(12:00～14:00)→浅草散策(14:00～16:00)→東京駅丸の内舎散策(16:30～17:00)→都内ホテル着(17:30)

ホテル到着後は自由行動・自由夕食

3日目

〔車窓〕 〔車窓〕

ホテル発(9:00)→皇居内散策(10:00～11:15)→国会議事堂→築地場外市場散策・自由昼食(13:00～14:30)→レインボーブリッジ

羽田空港着(15:00)→各地空港へ出発(15:30～17:00)→各地到着解散(17:00～20:00)

2日目、東京駅散策までは、統一行動、その後はオプションとして選択
注意 一泊を選択の場合は2泊目は自費で宿泊となります。
3日目、15:00に羽田空港集合として、各地区に帰路に就く事とします。

定例報告と連絡事項の目次

- 祝 山本孝喜さん旭日小綬章を受章 56
- 広島支部結成20周年記念式典報告（総会・懇親会） 57-58
- 地区役員報告 59
- 役員会便り/新入会員紹介/会員数推移/支部行事予定/編集後記 60

祝 山本孝喜さん旭日小綬章を受章

平成25年春の叙勲で、山本孝喜さん（社友会広島支部支部長）が旭日小綬章を受章されたのでお知らせします。

シャープ社友会 広島支部
支部長 山本 孝喜

平成25年春の叙勲で旭日小綬章をいただく事が出来ました。

5月1日に広島県知事より伝達式とお祝いの言葉、ご来賓として県議会議長を始め県の幹部の方々からお祝いの言葉を戴きました。

叙勲は広島県では、旭日小綬章4人、瑞宝小綬章10人、旭日双光章10人、瑞宝双光章11人、瑞宝単光章25人などで、私は、旭日小綬章という大きい勲章を戴くことになり、シャープに務める皆様のご協力とご支援に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

5月14日には、私たち夫婦は揃って皇居で天皇陛下の拝謁、お祝のお言葉を戴き、記念写真を撮影して戴きました。

私たち夫婦にとっては、二度目の皇居となり（一度目は15年前藍綬褒章）素晴らしい人生になりました。シャープに務めて本当によかったと、多くのシャープの仲間感謝、感謝、感謝です。

授章は東広島市の市議会議員、8期が評価されたものですが、8回の選挙では、選挙事務所にご多忙のなか佐伯社長様が（元南海ホークスの鶴岡監督同道）陣中見舞い、4年後は辻社長様、その後も桂副社長様、佐治専務様と選挙の度、激励と陣中見舞いに来て戴き、こんな幸福な人生を味わうことが出来ました。

現在は社友会広島支部支部長（会員数504名の代表）として、年間行事の実行や毎月の役員会を開催しております。又、今年は広島支部結成20周年の年であり、記念式典には、社友会本部から真副会長様、シャープ株式会社から町田相談役様のご臨席を戴き開催いたしました。私に取っては、この度の叙勲や20周年等で人生の喜びで一杯であります。

今後は少しづつではありますが、皆様にお返しして行かなければなりません。そのためには今まで以上のご指導、ご鞭撻を重ねてお願いし、ご挨拶とお礼の言葉とさせて戴きます。

ありがとうございました。



旭日小綬章

皇居で受章の記念写真
右から3人目が山本孝喜さん

広島支部結成20周年記念式典報告

(2013年度広島支部定期総会・懇親会報告)

平成25年5月24日、シャープ社友会広島支部第20回定期総会・紅葉会第19回定期総会と懇親会を通信システム事業本部多目的ホールにて、会員124名(社友会111名、紅葉会13名)の過去最高の参加者を得て開催しました。

今回の総会は、広島支部結成20周年を祝う記念式典で、ご来賓にシャープ(株)より町田相談役、通信システム事業本部 長谷川常務執行役員、総務部 長谷川副参事、シャープ労働組合 阿部広島支部執行委員長と社友会本部より御手洗会長の名代として真副会長のご臨席を戴いて行われ、山本支部長が、平成25年春の叙勲で「旭日小綬章」を受章されたニュースも有り、20周年記念式典(定期総会・懇親会)は盛大に開催されました。



シャープ社友会 広島支部 結成20周年記念総会・懇親会
2013年5月24日(金) 於: シャープ(株)通信システム事業本部 多目的ホール

記念式典で戴いたご挨拶や祝辞は巻頭に掲載。記念式典の写真を広島支部ホームページの“行事レポート”欄に掲載しました。又、定期総会での審議・議決事項の詳細は、20周年記念総会議案書にて確認ください。



記念総会で祝辞を頂いた
左: 総務部 長谷川副参事
右: 阿部支部執行委員長



総会の様子、総会では皆さん真剣に審議



紅葉会総会の皆さん

◆千田総務部長祝辞(抜粋)(総務部 長谷川副参事代読)

シャープ社友会広島支部が結成20周年を迎えられる事と成り、心からお祝い申し上げます。当時を振り返りますと、平成5年7月15日に立ち上げられて以来20年、今では会員数が500名を超え、会員皆様が同じ趣味やスポーツを通じ、本格的にまた楽しく活動されているご様子を伺い、本当に楽しく、又、羨ましく思えて成りません。ここまで大きな組織に育てられるには、並大抵のご苦労では無かったと思います。結成準備時は、僅かな会員数で一人一人の負担が大きく、必要経費等を考慮すると、運営が困難だったと伺っています。それでも諦めず、短期間に多数の会合を重ね、本社・本部への直談判等、その熱意と心意気が本社と本部の心を動かし、全国で二番目の支部として産声を上げられた時は、喜びもひとしおだったと思います。また、他の支部には例を見ない、「紅葉会」も発足された事で、更に活動の勢いが増し、発足当時の気持ちですが、今日まで受け継がれてきたものと感じています。

本日、20周年という記念の日を迎えられたことは、歴代の支部長さんを始め、支部結成にご尽力された方々のご努力の賜であり、深く敬意を表します。

このような中、昨年度より諸先輩皆様が道筋を付けて築いてこられた、創業100周年の記念すべき年を迎えながら、会社の業績不振により、皆様には多大なご心配をおかけしております。皆様が、旅行やお孫さんの為と貯た、貴重なお金を少しでも会社立て直しの為にと一人一品運動を推進頂き、本当に感謝の念に堪えません。会員方の一人一人の心温かいお気持ちに支えられ、助けられ、我々に勇気と元気を与えて頂き、本当に心強く改めて心より感謝申し上げます。創業の理念に立ち返り、全力で再建に向け、取り組んでまいりますので、引き続き皆様のより一層のご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。最後に、広島支部の益々の発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、お祝いの言葉と致します。(総務部長 千田佳文)



ご来賓の方々、真副会長、町田相談役、長谷川常務執行役員



談笑される町田相談役と歴代支部長

◆第20回定期総会議案審議（第一部）

支部結成20周年の式典という事で、総会は過去最高の124名の出席者で開催。山本支部長挨拶に続き、総務部千田部長の祝辞を長谷川副参事に代読と労組阿部支部執行委員長の祝辞を頂き、その後、議案書に沿って審議され、質問・意見は無く、満場一致で全議案が承認されました。

- 1) 平成24年度 経過報告
 - ・事業、行事、慶用の報告を東副支部長より報告。
 - ・一般会計決算報告を矢野幹事より報告。
 - ・会計監査の結果報告を黒田幹事より報告。
- 2) 平成25年度の事業・行事計画
 - ・事業・行事計画を東副支部長より提案。
 - ・一般会計予算案を矢野幹事より提案。
- 3) 同好会活動関連を岩垣幹事より報告提案
 - ・平成24年度の活動報告と支部結成20周年記念行事計画の報告。
 - ・テニス同好会を4月に設立。
- 4) 20周年記念行事費の予算案の提案
 - ・予算案の内訳と執行計画を提案。
- 5) 平成25年度広島支部役員構成は平成24年度から全員が引き継ぎ変更無し。

◆懇親会（第二部）

総会の後に参加者全員での記念撮影を行い、紅葉会と合同で開催。シャープ(株)から町田相談役、長谷川常務、労組阿部支部執行委員長、社友会本部から真副会

長のご臨席を戴いて、支部結成20周年の記念にふさわしい懇親会を盛大に開催することが出来ました。

- 1) 結成20周年のご祝辞を真副会長、町田相談役、長谷川常務より戴く。（巻頭に掲載）
- 2) 当日出席された広島支部結成時の会員5名、歴代支部長、7地区の委員長の紹介。
- 3) 平成25年新入会員及び喜寿古稀の慶祝者の紹介、慶祝者を代表して喜寿を迎えられた出口元支部長よりご挨拶を頂く。
- 4) 20周年記念旅行（東京スカイツリーと日光鬼怒川温泉）の計画案を説明。詳細決定次第、全会員に向けて参加募集の案内を行う予定。

◆特別企画（第三部）

会場内でシャープ製品展示即売会を実施

- 1) スマホ新製品の特長等を、3キャリア其々の開発担当者による新製品説明会を開催。
- 2) SEMCの協力を得て、バイシャープの促進に繋げるべく会場にて展示即売会を実施。この展示即売会を機に、社友会会員によるバイシャープ運動を積極的に取り組み、経営再建に向けた支援強化の推進に貢献できると期待します。

◆紅葉会役員改選

紅葉会の第19回定期総会も別室にて開催され、原田邦子さん(代表兼監査)、山多和子さん(総務)、山近和恵さん(会計留任)の新社友会役員が選任されました。



慶祝対象者を代表し挨拶される、喜寿を迎えられた出口さん



左:新設テニス同好会を紹介の増田隆治さん



右:秋季旅行説明の田井幹事



20周年を祝い、和やかに談笑しながらの食事を楽しむ、どこか、同窓会のような雰囲気も？



BigPADも活用して
全同好会のPRパネルを展示



特別企画
キャリア別にスマホ新製品説明会を実施
若手に期待しましょう



展示即売会のコーナー
女性は白物家電に注目！？



3キャリアの相談ブース、実機を見ながらの質問も

中国四国等の地区会員数		5月末現在	合計	176名	
広島地区	59	山口地区	15	山陰地区	22
四国地区	24	関西関東	12	福山地区	30
					12月末比 6名増

〔広島地区〕

- ◆1月30日、2013年の第1回ゆうゆう会世話幹事会を幹事11名が参加して、昨年の「ゆうゆう会懇親の集い」の反省会と新春賀詞交歓会を兼ねて開催。
本年度は、ゆうゆう会結成10周年を迎えるに当たり、特別企画のゆうゆう会懇親の集いを11月21日に開催する事をアンケート結果等を考慮し決定した。
- ◆4月15日、ゆうゆう会第2回世話幹事会を幹事9名が参加して開催。ゆうゆう会結成10周年の記念懇親会の開催日11月20日と 社友会広島支部行事の秋季2泊旅行と日程がバッティングする為、11月13日開催に日程変更を決定。合わせて、又、第5回の最終 世話幹事会を11月11日から11月6日に日程変更をした。参加記念品はシャープペンシルを取止めて、特別カレンダー作成する事を再検討する。特別イベントとして、外部講師による健康講座講演や知人のシャンソン歌手の独唱に加えて、会員による特技のダンスや楽器演奏披露、所属会社別対抗カラオケ大会実施、並びに、会員の作成作品（写真・絵画・書道作品等）の会場展示紹介等々を実施して、記念総会懇親会を盛り上げるアイデア提案があり、これらのアイデア提案の内容をそれぞれの関係先へ交渉や打診を行い、次回6月24日に開催の第3回世話幹事会で 実施具体策の詰めを行う事にした。

〔山陰地区〕

- ◆4月10日社友会春の旅行が当山陰地区で実施され、4名現地参加、白壁土蔵群散策、中国庭園（燕趙園）での中国雑技団の妙技に感嘆。
- ◆4月14日スタジオアリス女子オープン決勝ラウンドの観戦ツアーに参加（大谷静夫さん企画）、スタート前の練習と各選手の一番ホールを目の前でみる。心、技、体、女子プロの迫力、テレビでみるのと違う。8月開催に向けて、恒例の青葉会（鳥取のOB会）を山本好太郎さんのお世話で企画中。

〔山口地区〕

- ◆山口地区はOB会を3年ごとに実施しており昨年に第3回を実施しました。今年度は地区会員の近況を探ってみようと副支部長と打ち合わせ中。
- ◆4月13日に岩国で花見を行い、12名の出席で大いに盛り上がりました。又、秋に小旅行を企画しており、又、皆さんに会えるのが楽しみです。

〔岡山地区〕

- ◆3月19日、恒例の第26回ゴルフコンペを赤坂レークカントリークラブにて5組19名の多数参加し実施。大変な盛り上がりで、好プレー珍プレーが続出したが無事終了。コンペの結果報告は次の通りです。優勝：伊丹昭さん(66)、準優勝：中村雅信さん(67)、第3位：江口文夫さん(69)、ベストグロ賞；中村雅信さん、BB賞：森安修治さん。次回、第27回ゴルフコンペを6月18日に岡山御津カントリークラブにて、5組20名の参加者を募り開催を計画推進中です。
- ◆SEMC岡山支店を支援すべく社友会岡山地区会員によるバイシャープ運動を推進する為、SEMC岡山合展を6月22・23日に家電品販売、岡山地区ソーラーエコ合展を6月29・30日にソーラー販売に向けて、一人一品運動を展開する予定。

〔四国地区〕

- ◆5月2日にゴルフコンペと懇親会を実施しました。
・ゴルフコンペはタカガワ新琴南ゴルフ倶楽部にて、4組14名の参加で開催。少し肌寒い気温ではあるが先ず先ずのゴルフ日和の中、いつもの様に好珍プレー続出で終了しました。今回は、計倉正樹さんがハンディーに恵まれての優勝でした。
・懇親会は高松市内で、16名で内女性4名の参加を得て実施。（下写真）近況報告と現役時の話題や最近のシャープの動向等で話の種が尽きない程の盛り上がりで盛会の内に終了する事が出来ました。

〔福山地区〕

- ◆4月4日に春の全体会合「花見の会」を備後ハイツで開催。満開の桜の下で楽しいひと時を過ごしました。参加者がもう少し増えればとの思いです。続いて、これも例会となっている「春のゴルフ会」を、作州武蔵GCにて一泊二日で行い、福山事業所OBで関西や四国に在住の遠方の方も参加され、賑やかなゴルフを楽しみました。次は、参加者は少なく残念ですが「山歩きの会」も春になり活動を再開し、笠岡十名山歩きの完遂が目前です。又、笠岡神島八十八箇所巡礼を全行程は約22km・・・で険しい難所もありますが、4月16日と5月7日の好天の日を選び、二日に分けて巡り終わりました。好天の瀬戸内の島々を眺望しながらの巡礼はきつい道のりですがなかなか良いものです。

〔関西・中部・関東地区〕

- ◆地区会員の所在地が遠隔で連携難しく改善中。
・11月21日、11月度TV会議の結果報告
・12月10日、メンバーへのバイシャープ依頼
・12月14日、神戸で会合 地区活動あり方について
・2月27日、2月度TV会議の結果報告
・3月28日、3月度TV会議の結果報告



四国地区、懇親会に参加の皆さん高松市内で



福山地区、花見会と春のゴルフ会

役員会便り

事務局長 松見 弘

※2013年支部新春懇親会を1月29日に開催しました。参加者95名、今年は本部年賀会をDVDで視聴しました。

※春季親睦日帰り旅行「鳥取県倉吉市及び中国庭園散策」を4月10日に参加者49名で実施。今回は山陰地区より提案の旅行でした。

※シャープ製品「一人一品購入運動」を今年も4月1日から9月30日の期間推進します。「スマホ購入キャンペーン」も同時に推進しますので皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

※平成25年度（第20回）支部定期総会及び支部発足20周年記念懇親会を5月24日に開催しました。平成25年度行事計画案、一般会計案、20周年記念行事費他原案通り承認されました。記念懇親会にはシャープ(株)より町田相談役、社友会本部より真副会長のご臨席を戴きました。

※20周年記念秋季親睦旅行「鬼怒川温泉と東京スカイツリー・都内観光の旅(案)」を11月19～21日(泊3日)に計画しています。多数のご参加をお待ちしています。

新入会員の紹介

2013年1月1日～5月末までの入会者 敬称略

たなか よしかず
田中 義一 No.2654 本部より移籍(2013年2月)

かがわ てつかず
香川 哲一 No.6012 通信システム事業本部 総務部

なかやま あけみ
中山 暁美 No.6013 電子デバイス(事本)SD第3(事)第3開発部

にしはら ひろし
西原 博司 No.6014 通信システム事業本部 資材部部品管理

たむら けんじ
田村 憲治 No.6015 通信システム事業本部 第1生産部

はまもと ゆうじ
浜本 雄二 No.6016 通信システム(事本)プラットフォーム機構開発部

みつはら けんじ
光原 健二 No.6017 通信システム(事本)CS推進センター

かたやま まさのり
方山 正則 No.6018 通信システム(事本)生産企画部

くろだ まさはる
黒田 正春 No.6019 通信システム(事本)事業戦略推進室

たぶち よういち
田淵 陽一 No.6020 通信システム(事本)生産技術部

うえだ みちひろ
植田 道弘 No.6021 通信システム事業本部 資材部部品管理

おかもと せいじ
岡本 誠司 No.6022 通信システム事業本部 海外生産推進部

やました まこと
山下 誠 No.6023 通信システム(事本)生産技術部

かも よしゆき
加茂 芳幸 No.6024 通信システム事業本部

かきもと まさし
柿本 昌 No.6025 通信システム(事本)特許推進C

たかつ ひろゆき
高津 博行 No.6026 通信システム(事本)CS推進センター

かんばら りょうじ
神原 良治 No.6027 通信システム(事本)事業戦略推進室

うえだ なおと
植田 直人 No.6028 グローバル商品開発C 回路開発部国内C

しもだ みきお
下田 幹夫 No.6029 通信システム事業本部 経理部

いとう たいぞう
伊藤 泰三 No.6030 通信システム(事本)事業戦略推進室

みま ひろし
三間 宏 No.6101 通信システム(事本)グローバル商品開発C

なかね みずず
中根 美鈴 No.6102 通信システム(事本)品質解析部

ひらの よしあき
平野 良明 No.6103 通信システム(事本)グローバル商品開発C

えぐち みつゆき
江口 光雪 No.6104 通信システム(事本)資材部

やまもと まさし
山本 正志 No.6126 通信システム事業本部 資材部部品管理

うめだ けいじ
梅田 啓二 No.6127 通信システム事業本部 第1生産部

みやけ ひでゆき
三宅 秀幸 No.6128 通信システム(事本)グローバル商品開発C

たわら なおひろ
俵 直大 No.6129 センシングデバイス事業部 生産管理

いしはま あきら
石濱 晃 No.6130 電子デバイス(事本)センシングデバイス(事)

うて さとご
右手 里子 No.6131 通信システム事業本部 第1生産部

おかだ よしお
岡田 良雄 No.6132 通信システム事業本部 資材部部品管理

やぎゅう ひろし
柳生 博 No.6133 通信システム事業本部 第2生産部

やました たくじ
山下 卓治 No.6134 電子デバイス(事本)事業戦略推進室

ふじさわ ひでき
藤澤 秀樹 No.6147 SEMC大阪量販営業部

ほりもと まさひで
堀本 昌英 No.6164 SEMC中四国統括支店 営業推進部

広島支部会員数 504名、2013年5月末現在

シャープ社友会会員数 5月末日現在					5,255名
本部	3,226名	東北	134名	栃木	391名
東京	655名	中部	195名	広島	504名
九州	150名	2012年12月末比		123名増	

広島支部行事予定 2013年7～9月	
7月26日	定例役員会
8月23日	定例役員会
9月27日	定例役員会

編集後記：社友会広島支部が結成20周年を迎えるに際し、hibiki記念号の発行を決めたのが3年前の2010年。トリガーは社友会本部結成30周年記念誌でありました。その後、会社の経営状況が厳しくなり、hibiki記念号の発行はおろか記念式典の開催すら危ぶまれましたが、記念式典は質素にそしてhibiki記念号は当初計画通りの発行を目指すとして英断し準備を進めて参りました。広島支部結成20周年に際し会社からは町田相談役様、長谷川常務様、労働組合からは阿部広島支部執行委員長様、そして、社友会からは御手洗会長、真副会長、各支部長より心温まる祝辞を頂戴致しました。又、支部内からは歴代支部長の方々始め、歴代の“ひびき”(hibiki)編集者、各地区委員長、同好会リーダー等々、数多くの方々より広島支部20年の歩みについて語っていただき、後世に残る記念号が完成致しました。ご協力を頂きました皆様様に感謝申し上げますと共に、引き続きのご指導・ご協力をお願い致します。

副支部長 中西 康憲

hibiki バックナンバーDVDの取扱説明書

シャープ社友会広島支部結成20周年記念DVDには、ひびき創刊号から支部結成20周年記念号 (**hibiki** Vol.66)迄のバックナンバーと、支部結成から現在に至るまでの年賀会・定期総会・親睦旅行の写真や記念行事のビデオなどの記録を収録しました。

- ・パソコンでも家庭用DVDデッキやブルーレイデッキでもご覧になれますが、ご覧になれる内容が異なります。
- ・それぞれのDVDトレイに装着すると自動でスタートします。

◆ パソコンで見る場合

- ・バックナンバー、写真集、記念行事ビデオなどを収録しました。
- ・パソコンの設定によっては自動でスタートしない場合があります。

同様に、“DVDデッキやブルーレイデッキで見る場合”で記載のビデオ映像が自動再生される場合もあります。

この様な場合は、コンピュータからDVDドライブに表示の『hibikiバックナンバー』を、ダブルクリックしてください。

注) 写真集などでは検索に時間 (DVDの回転が長く続く) がかかる場合があります。

◆ DVDデッキやブルーレイデッキで見る場合

- ・記念行事写真、記念ビデオなどを収録しています。
- ・それぞれをメニュー画面から希望のものを選択しご覧ください。



シャープ社友会広島支部結成20周年記念号 (**hibiki** Vol.66)

2013年7月発行

発行 : シャープ社友会広島支部 広報担当
広島県東広島市八本松飯田2丁目13番1号
シャープ(株)通信システム事業本部気付
E-mail : shayukai-hro@bz01.plala.or.jp
TEL : 082(420)1728

発行責任者 : 山本 孝喜

印刷 : 山脇印刷株式会社
広島県竹原市新庄町29番地
TEL : 0846(29)1535



シャープ社友会広島支部結成20周年記念

2013年(平成25年)7月